



愛知陸協広報

第31号

平成25年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

平成25年度上半期を振り返って

一般財団法人愛知陸上競技協会 専務理事 稲垣 裕

愛知陸協では年間約60の競技会の主催、共催・協力事業を実施しています。トラック&フィールドが一段落した今、競技会の4分の3程が終了しています。これまで大きな問題もなく各事業が行なわれ、愛知陸協の役員、審判員、各協力団体、関係者の皆さんに改めて感謝とお礼を申し上げます。7月開催の愛知選手権において、競技会運営に長年貢献された方に例年会長表彰が行なわれ、今年度は5名の方が受章されました。心よりお祝い申し上げますと共に、今後とも競技会運営にご尽力をお願いいたします。

昨年のロンドンオリンピックには、銅メダルの室伏広治選手(ミズノ)をはじめ県内から5名が出場し、我々に感動を与えてくれたのも記憶に新しいところです。オリンピックの余韻も冷めやらぬ今年の8月に、モスクワで世界選手権が開催され、オリンピックにも出場した山本聖途選手(中京大)が、棒高跳で6位(5m75)という快挙を成し遂げ、同じくハンマー投6位の室伏広治選手と共に、日本選手団として貴重な入賞を果たしました。山本選手の目標は6mを跳ぶことと高く、オリンピックのメダルも現実味を帯びてきました。今後の活躍を大いに期待したいと思います。また、4×400mRに中野弘幸選手(教員)と400mHに安部孝駿選手(中京大)が日本代表選手として出場し、健闘しました。

8月には全日本中学選手権が瑞穂で開催されました。全国から1,700名を超えるアスリートが集い、猛暑の中、「東海で君が叶える夏の夢」のスローガンのもとで熱戦が繰り広げられました。大会運営に携わった中体連の先生方の献身的なご協力に対し敬意を表します。競技会も大成功のうちに終了することができました。

10月の東京国体は、天皇杯、皇后杯共に9位でした。個人では110mHで古川裕太郎選手(小島プレス)が2連覇を達成しました。熱心なコーチの方々、奮闘する選手の皆さんを見て来年の飛躍につながる手応えを感じました。

名古屋で4回目を迎えたジュニア・ユース大会では、昨年に引き続きハンマー投で墨 訓熙選手(中京大)がジュニア日本新記録を樹立しました。今後は室伏選手の後継者として期待がかかります。また、桐生祥秀選手(京都・洛南高)が今シーズン最後のレースに出場した200mにはスタンドに多くの観衆が詰めかけ、「日本一の走りが見られて良かった」との声が聞かれました。全日中、ジュニア・ユースに続き、10月末に東海高校新人が愛知県で開催されました。ビッグな競技会が続き協会役員も多忙な日々でしたが、高体連の協力もあり、競技会を成功させることができました。

上半期の競技会を中心に振り返ってきましたが、ジュニアオリンピックで全国優勝した女子4×100mR・110mHの八代貢輝選手(佐織中)、日本代表として海外遠征した大久保直哉選手(安城学園高)・森 凧紗選手(名城大附高)のように若い選手が確実に育っております。協会としてこれまで同様、選手強化普及に力を入れていきたいと思っております。今後はロードレース、駅伝、強化合宿・練習会と3月まで計画が詰まっています。特に2月の犬山ハーフマラソン、3月のマラソンフェスティバルには多くの審判員の協力が必要となります。今後とも愛知陸協の諸事業に対し、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

3連覇の偉業達成

10月20日に瑞穂公園陸上競技場で行なわれた第29回日本ジュニア陸上競技選手権大会で、中京大学2年の墨 訓熙(スミクニヒロ)選手が、自身のもつ68m94のジュニア日本記録を上回る68m99で優勝し、ジュニア日本新記録(もちろん県新・大会新)を樹立しました。また、今年も最優秀選手に選ばれて、連続最優秀選手という偉業を達成しました。墨選手は起工業高校からジュニア選手権を3年連続で制したことになります。今後の活躍を期待します。おめでとうございます。



専門委員会報告

総務委員会

2013年のトラックシーズンも終わり、駅伝・ロードの季節となりました。本委員会も各競技会の窓口としての業務を行なってまいりました。なかでも、今年で愛知開催が4回目となる日本ジュニア・ユース選手権大会においては、委員の方が連日夜遅くまで残って日本陸連や旅行業者・レンタル業者等々との細部にわたる打ち合わせや連絡に精を出していただき、無事終了することができました。新米委員長としては、感謝の気持ちで一杯で本当に頭が下がる思いです。ありがとうございました。後にはさらに市町村対抗駅伝、犬山ハーフマラソン、マラソンフェスティバルが控えています。これらの準備に追われる日々が続きます。

次に、来年度から審判員の胸章が一新されます。詳細につきましては、審判委員会と係り各審判員の方へ連絡をさせていただきます。

また、例年実施している全国都道府県対抗女子駅伝の応援ツアーにつきましては、今年も実施します。多数の方に参加していただきますようお願いいたします。

(水野 隆夫)

競技・情報処理委員会

2013年10月18日～20日に開催された、日本ジュニア・ユース選手権大会へのご協力ありがとうございました。今年度で4回目の開催で、各委員会や係で準備をしてきましたが、何回行っても準備が大変でした。課題が解決されても新たな課題が見つかり、来年度に向けてより良い大会運営が行なえるように委員会でも反省点を検討中です。

現在、競技委員会では様々なロードレースの準備を行ないながら、来年度の競技会日程を調整しています。全国大会や東海大会の日程を基本とし、県大会や地区大会を編成していきます。特に瑞穂公園陸上競技場ではJリーグとの関係もあり、制約の多い条件の中で、大会の重なりをできる限り無くしていきたいと考えています。競技者の利便性など多くの条件の中で競技日程を決めていくのは難しいですが、多くの方々の協力を得て調整を行ないます。さらに瑞穂競技場で全国大会や東海大会が複数開催される年は、競技場の日程も混み合い、調整は困難を極めます。この冬には瑞穂競技場が検定のための改修工事に入ります。来年度は新しくなった競技場で好記録が出ることを期待します。

2014年度は、5年連続となる日本ジュニア・ユース選手権大会（国体の関係で10月の第1週）に加え、6月に東海高校総体陸上競技大会が瑞穂競技場で開催されます。県レベルや地区レベルの大会日程に影響が出ないようにしていきますが、日程の変更や会場の変更をお願いしなければならない大会もあると思われます。ご理解、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

地元で大きい大会を開催し、一流のアスリートの競技を愛知の競技者に見てもらふことは、モチベーションを高め、競技力の向上にもつながることと思われます。競技運営や準備などへのご協力よろしく申し上げます。

(榎原 茂)

施設・用器具委員会

I 瑞穂陸上競技場の整備についての現状

2013年10月16日に、名古屋市教育委員会スポーツ振興課、土木課、電気課、瑞穂運動場管理事務所と私で改修に向けての最終打合せを行ないました。主な内容は、①予算の配分 ②工事業者入札状況 ③工事期間と検定日 ④電気配線関係 ⑤精密器具関係 ⑥「クラス2^(※1)」の認証 等愛知陸協の要望を一つ一つ確認しました。財政が厳しい中、整備の予算取りには、行政サイドから「日本選手権レベルの開催が必要」と再度言及されました。また、その備品の充実のために、予算要求のまとめを来年度4月に提出するようにとも言われました。

※1…国際大会の開催要件を満たす競技場

II 検定スケジュール状況の報告

(1) 名古屋ウィメンズマラソンコースの一部変更について
大きな変更点は、①スタート位置 ②堀田折り返し付近 ③若宮大通久屋交差点付近 ④市役所付近 ⑤ドーム内フィニッシュ地点 です。

全コースの計測を、国際道路自転車計測員平塚さん(A級)・桑原(B級)・平川(C級)により、11月1・2日に実施しました。1日は午後1時より、検定事前準備、カリブレーションコース^(※2)作成、ドームを含む全コースの下見を行ないました。2日は午前4時00分の早朝よりコース計測を行ない、その後計算して調整し、5kmごとの関門決定・ポイント作成作業をしました。また、11月17日に愛知陸協独自の10名ほどのメンバーで、自転車計測により1kmごとのポイント、給水ポイント等の変更、白川公園へのハーフコースのフィニッシュ、瑞穂陸上競技場への10.5kmのポイント作成作業をしました。多くの人に参加していただいて順調に終わりました。後は平川による、パソコンでのポイント図作成という大変な作業を残すのみとなりました。

※2…マラソン全コースを計測する基準となる400mの直線コース—ここを自転車ですぐ1往復半(1km)して回転数を数える。これを3度くり返し、平均回転数を算出する。



自転車計測による、1Kごとのポイント作成中

(2) ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場の第3種継続公認検定
2014年1月12日に青木(検定員)と平川(技術役員)が実施の予定です。

(3) 一宮陸上競技場の第3種継続公認検定

2014年2月中旬に青木と平川が実施の予定です。

(4) 瑞穂陸上競技場の第1種継続公認検定と「クラス2」認証公認検定

クラブ紹介⑳ 知立ジュニアクラブ

知立ジュニアは、知立市・刈谷市在住の小学校3～6年生を対象に2009年、知立市陸上競技協会の小学生の普及事業として発足しました。現在男子14名、女子17名が所属し、コーチ6名で活動しています。

練習は毎週日曜日9時から11時30分まで、主に知立市の小中学校のグラウンドなどで行なっています。コーチたちは、子どもたちに陸上を教えたり一緒に走ったりする事が大好きな者ばかりで、毎週、子どもたちとの練習をすることをとても楽しみにしています。

練習内容は、目先の勝利にとらわれず、「中学や高校へ行って記録が伸ばせる為の必要な技術と体力を身につけよう！」をモットーに、正しいキックをする為の体づくりと歪みのない真っ直ぐな足づくりに取り組んでいます(少しずつですが…)。

走練習は、何本も走り込むという事は行わず、一本走る毎に体力が完全に回復するまで休憩し、一本一本を集中して全力で走るとい事にこだわっています。一本一本に集中する事の積み重ねこそ将来強くなる為には重要だと考えているからです。そのため、休憩時間は少し多めとなっており、その時間を利用し、コーチと選手のコミュニケーションをとることやイメージトレーニングを行なっています。休憩時間にはいかに面白いことをするか、選手に疲労を感じさせないか(笑)、一本一本の走練習直前のイメージトレーニングで選手をいかに集中させるかが最大の課題

2014年3月中旬に日本陸連本部役員と青木と桑原・平川が実施の予定です。

Ⅲ 瑞穂陸上競技場の電気関係整備による審判研修会開催について
愛知県体から20年振りに、電気配線交換、ハンドホールジャック取り換え、無線インカムの導入等、電気関係が大幅に改修改善されます。今後は審判委員会と連携し、電気精密機器の研修と同時に審判員の資質向上のために講習会を開催しなければなりません。講習を受講し操作方法を習得した人しか機器を使用できない状況が起き、審判編成と大会運営が困難になる場合があります。多くの方々に受講していただき、操作方法の習得をお願いします。

(青木 実)

審判委員会

今年度前半には第40回全日本中学校陸上競技選手権大会、第29回ジュニア・第7回ユース陸上競技選手権大会と大きな大会が2試合ありましたが、多くの審判員の方々にご理解・ご協力をいただき無事終了することができました。ありがとうございました。

後半には、今年もロードレースを中心に多くの大会が開催されます。12月の市町村対抗駅伝、2月の犬山ハーフマラソン、3月には3回目となるマラソンフェスティバルナゴヤ・愛知も行なわれます。各大会には多くの審判員が必要となりますのでご協力をお願いします。

特にマラソンフェスティバルでは多くのボランティアの方々に参加され、ボランティアリーダーに対しては2日間にわたる研修会などを開催し、資質の向上を目標に取り組

んでいます(なかなかうまくいきませんが…)。

短距離ドリルは、特に難しい事は行なっていません。どこにでもある、誰でも知っているオーソドックスなドリルを

6種類、走練習前に必ず行なっています。将来、膝を固定したままスイングできるように衝撃に耐える動き等、いずれも将来の事を考え抜いた末に選んだドリルです。

短距離以外の種目も子供たちがやりたいと言えば積極的にやらせています。特に難しい技術を教えるのではなく、いろいろな種目にチャレンジして楽しませています。

また、1年を通してトラック競技から駅伝やマラソン大会まで色々な大会に参加しています。まだまだどの種目に向いているのか分からない小学生なので、たくさんの経験をして陸上競技を楽しんでもらえたらと思っています。

最後に、「天才は努力する人には勝てない。努力する人は楽しんで努力する人には勝てない」をモットーに私たちコーチは、怪我なく楽しんで努力できる選手の育成にこれからも取り組んでいきたいです。

(盛 昭夫)



瑞穂競技場にて

んでいます。審判員の方がボランティアの方と一緒にあって大会を盛り上げていただきたいものです。

またB級公認審判資格講習会の2回目を、11月23日(土)に愛知陸協事務所にて行ないました。今後も1人でも多くの教え子、同僚などに勧めていただき、若い力を育てていきたいと思います。

最後に、今年度もルール改正が行なわれ、各地区にて3月下旬に審判伝達講習会が行なわれます。昨年度も不正スタートや出発係の指示の方法などの改正があり、早速全国大会に向け取り組んでいただきました。しかし改正点が多く審判員の方に理解され、意思統一がなされるまでには時間がかかりました。是非伝達講習会に参加して、技術向上に役立ててください。

審判員服装…夏季は白のカッターシャツかポロシャツ(愛知は指定のポロシャツがあります)グレーのズボンかスカート。陸協指定の青のキャップ型帽子。黒の靴(女性の靴でかかとの高い物はだめです)。胸に胸章を付ける。

(小森 好治)

選手強化委員会

2020年の東京オリンピックが決定した直後に開催された国体であり、開会式の趣向がオリンピックを彷彿させるような演出でした。それをテレビで見た我々にとっては、開催地の人たちの関心や盛り上がりの低さに驚きを禁じ得ませんでした。地方であれば国体一色となる歓迎の風景も見ることなく、行き帰りの電車ではただただ東京の雑踏



勢揃いした愛知県選手団

に凌駕された1週間でありました。

日本最大のスポーツイベントである国体に対する都民の関心度は高いものではなかったのですが、7年後にこの地で開催されるオリンピックは世界最大の祭典です。オリンピック一色となるこの都市に東京オリンピック世代となる愛知県代表の少年選手が、7年後に「愛知」から「JAPAN」のユニフォームに姿を替えて戦う姿を見たいものです。

オリンピックや選手権大会と違って国体は入賞者のメダル授与が為されない大会です。そのため県対抗でありながら金、銀、銅の数をカウントすることはありませんが、オリンピック方式でメダルテーブルにしたのが(表1)です。

表1:メダル順位

総合順位	メダル順位	県名	金	銀	銅	得点	上位得点	中下位得点
1	1	東京	4	5	8	136	115	21
2	2	静岡	4	8		131	88	43
3	3	京都	3	3	6	115	81	34
4	4	埼玉	5	4	2	110.5	80	30.5
5	5	北海道	3	2	3	77	56	21
6	6	神奈川	2	3	2	76.33	49	27.33
7	8	兵庫	2	3	1	72	43	29
8	15	千葉		1	3	71.5	25	46.5
9	9	愛知	1	3	2	71	41	30

*参加点を除く(上位:1~3位 中下位4~8位)

優勝した東京は総メダル数17。115点を獲得した。愛知は6個で41点です。中下位入賞の得点は愛知の方が上まわっていることから、やはり総合優勝するためには、現在の選考基準である“入賞の可能性のある選手”から“メダルが確実にできる選手”を選抜している静岡、東京レベルに引き上げなければ到達できない領域です。

大会前の総合予想順位は7位。結果は8位と0.5点差、7位と1.5点差と本当に悔しい順位でした。選考段階でメダル圏内である2名の成年選手の起用ができなかったことも痛手でした。

メダルが最も期待された成年男子110mハードルの古川裕太郎選手(小島プレス)は結果はもちろん、主将としての手腕も期待の内に入っていました。多くの実業団選手が練習を生業としている中、古川選手はフルタ



成年男子110mHの古川選手

イムの勤務で、限られた時間の中での練習で実績を上げている選手です。今回は主将に任命されたことで、大会前日からのチーム帯同が許され、じっくりと調整できたことが優勝(金)に繋がったと報道機関にも語っていました。これで国体2連覇。内藤真人選手(ミズノ)が国体で日本記録を樹立した後オリンピック代表として活躍したように、古川選手も国体連勝を成し遂げつつリオを目指してもらいたいと思います。愛知唯一の金メダルは男子主将からのものでした。

女子の主将に任命されたのは、成年女子ハンマー投に出場した野田奈央選手(名古屋学院大)。少年時代に2度の出場経験を持ち、昨年成年選手として返り咲いたお姉さん選手としてチームを引張ってくれました。過去3大会では得点を上げられずに沈んだ国体でしたが、シーズンベストで初入賞を果たし、嬉し涙と笑顔でテントに帰ってきました。これらの模範となる成年選手と共に競技できる国体は、少年選手にとって得難い財産として残るものと思われます。結果だけを求める強化ではなく、世代を超えた連携、将来を見据えた少年選手の有機的な育成が本質的な目標として堂々と掲げられるよう、強化委員会は発信する必要があります。

鈴木亜由子選手(名古屋大)は中学、高校、大学と続いた学生として出場する最後の国体で銀を獲得。来年度からは実業団チームの日本郵政に所属する予定です。都道府県対抗駅伝を含めてふるさと選手となり、愛知の亜由子で走り続けてもらいたいと願うばかりです。

少年選手からは、3名のメダリストが誕生しました。自らをトレーニングオタクと称する棒高跳の鈴木康太選手(岡崎城西高)は、インターハイの雪辱を期しての国体第2位。競歩の及川文隆選手(愛知高)は、昨年の岐阜国体で所属チームの先輩である山田康太選手がマークした東海高校記録を更新しての第2位でした。鈴木亜由子選手と同じく日本郵政に内定している800mの佐々木明花選手(岡崎城西高)は、インターハイでマークした自己ベストを更新しての3位入賞。国体で「自己ベストを更新できれば、全ての選手が入賞できる」と掲げたチーム愛知の目標を達成した選手となりました。

中学3年生から4年連続出場している少年女子A100mHの萩原加奈子選手(豊橋南高)は4大会全てに入賞を果たし、今大会の4位で合計14点を獲得しています。来年から成年選手として更に得点を積重ねてもらいたいものです。少年時代に国体優勝経験を持つハンマー投の墨訓熙選手(中京大)と800mの竹内麻里子選手(中京大)は、共に成年選手として初出場し7位。競歩の前川知美選手(三菱自動車岡崎)も、少年Bの選手として出場した秋田国体の6位を上回る4位と成長した姿を見せてくれました。

少年A100m入賞の近藤晃選手(愛工大名電高)と、少年女子A棒高跳で入賞の佐藤愛選手(中京大中京高)は共に2年生、男女少年B200mで決勝に進出した大崎慎平選手(名城大附高)と中野真琴選手(安城学園高)は共に1年生。今後愛知の中心選手として活躍が期待で



少年女子棒高跳の佐藤選手

きます。今シーズン県高校記録を更新した400mの中川滋貴選手(豊川高)は、インターハイの3位には及ばなかったものの6位入賞。同じ所属の少年B3000m長谷川令選手も6位と健闘しました。

入賞を期待して選考した選手が国体でシーズンベストを達成できなかったことが、今回の結果に繋がったことは事実です。しかし、準決勝で県記録に迫る記録をマークし、最終日に堂々3位に入賞した男子リレーの活躍により愛知の強さを他県に発信できたものと確信しています。

大会期間中激励に駆けつけてくださった愛知陸協の皆様、支援コーチの先生方、深夜まで選手ケアに携わってくださったトレーナーの皆さん、各選手所属の監督・コーチの皆様には厚く御礼申し上げます。(北村 肇)

記録委員会

10月中旬から県小中体連各支所による県中学駅伝予選会がスタートして道路競技シーズンに入り、トラック&フィールドシーズンは11月の駅伝強化・投てき競技会(瑞穂北)、デカスロンin愛知(知多)を最終競技会として全て終了しました。今年度から公認記録申請も電子データによる申請がスタートし、4地区陸協記録委員長はじめ各競技会記録担当者には無理なお願いをしました。担当者のご尽力ご協力により正確な報告をいただき、11月初旬現在、電子データ申請は57競技会、紙媒体による申請は35競技会、計92競技会の申請を終了しました。

記録委員会では、8月には1回目の記録のチェックを終え、12月から1月上旬にかけて再度チェックしてランキング作成の準備に入ります。日本陸連監修の100傑用資料、陸上競技専門誌等への記録を報告。その後、愛知陸協2013年分10傑表の作成と新記録等の確認。最終チェックを済ませて印刷に入ります。発行は3月上旬の予定です。中学校の部は記録委員会副委員長の名倉喜三郎氏、高校の部は尾張陸協副理事長の野口一昭氏に記録整理にご協力いただき、2重のチェックにより正確な記録集作成に取り組んでいます。

◎広報第30号以降、確認した県記録等

県新記録

男子

100Km 6.49.53 高田 由基(愛知陸協)

第28回サロマ湖100Kmウルトラマラソン(北見)6月30日

5000mW 19.53.73 沓名 貴輝(東洋大)

第8回サマーゲーム(代々木)7月24日

ジュニア新記録・日本ジュニア新記録

男子

ハンマー投(6.000kg) 68.99 墨 訓熙(中京大)

第29回日本ジュニア陸上競技選手権大会(瑞穂)10月20日

愛知高校新記録

男子

400m 46.97 中川 滋貴(豊川)

第66回全国高等学校陸上競技選手権大会(大分)7月29日

やり投 67.99 坂本 達哉(一宮南)

2013愛知投てき競技会(瑞穂北)11月9日

女子

1500m 4.17.49 鷺見 梓沙(豊川)

第66回全国高等学校陸上競技選手権大会(大分)7月30日

やり投 49.03 森 風紗(名城大附)

平成25年度名古屋南北支部高等学校学年別陸上競技大会(瑞穂)7月23日

愛知高校タイ記録

男子

棒高跳 5.10 鈴木 康太(岡崎城西)

平成25年度第3回中京大土曜競技会(中京大)6月8日

女子

100m 11.81 杉山 美貴(中京大中京)

第60回東海高等学校総合体育大会(伊勢)6月22日

愛知中学新記録

男子

110mH 14.18 八代 貢輝(佐織)

第40回全日本中学校陸上競技選手権(瑞穂)8月22日

4×100mR(単) 43.07 御幸山

(角谷俊弥・林 裕人・林 龍平・松永乃樹)

第41回名古屋地区陸上競技選手権大会(瑞穂)10月5日

4×100mR(単) 42.99 御幸山

(角谷俊弥・林 裕人・林 龍平・松永乃樹)

第7回日本ユース陸上競技選手権大会招待(瑞穂)10月19日

4×400mR 3.34.10 御幸山

(角谷俊弥・林 裕人・林 龍平・松永乃樹)

平成25年度名古屋地区中学校新人陸上競技大会OP(知多)9月28日

4×400mR 3.32.95 御幸山

(松永乃樹・林 龍平・角谷俊弥・林 裕人)

第41回名古屋地区陸上競技選手権大会(瑞穂)10月6日

4×400mR 3.33.02 古知野

(大原健太郎・渡邊駿颯・於保祐喜・滝 大善)

第60回尾張陸上競技選手権大会(一宮)10月6日

棒高跳 4m50 松永 乃樹(御幸山)

第35回東海中学校総合体育大会(瑞穂)8月10日

砲丸投 15m00 白藤 聖陽(矢作)

第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会(日産スタジアム)10月27日

女子

200m 24.89 掛川 栞(豊明・栄)

国民体育大会選手少年Bの部選考会(瑞穂)7月7日

200m 24.84 掛川 栞(豊明・栄)

第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会(日産スタジアム)10月25日

4×400mR 4.02.70 大高

(江頭亜美・鈴木朱音・山口真知・柴崎五月)

第41回名古屋地区陸上競技選手権大会(瑞穂)10月6日

(岡田 武彦)

女性委員会

7月に行なわれた第10回県レディース陸上競技大会は、今年も大変多くの参加者で記念大会にふさわしい素晴らしい大会となりました。ご協力いただきました多くの皆様にご感謝いたします。

ただ一つ課題も残りました。参加者は年々増加にありますが、女性審判員数は審判全体の約14%と大変少ない状態でした。今年度、県には約300名近い女性審判員の登録があります。残念ながら、各地区での大会や各団体での審判活動が中心の状態にあるようです。今年度は委員会に各地区からまた、中体連や高体連からも委員を選考していますので、各関係者からしっかり声掛けをし、県レディース大会を含め県大会での女性審判員増員にも力を入れていきたいと思っております。また、8月に開催された全中愛知で審判

学校訪問②① 矢作中学校 県中総体男子総合優勝

今回は、県の中学総体で男子が総合優勝を果たし、女子も総合8位に食い込んだ矢作中学校を尋ねました。男子が、女子が、という学校は多いのですが、男女ともに総合成績で健闘した学校はそう多くはありません。何か強さの秘密があるはずと思い、取材をしました。

学校を訪問したのは土曜日の午前中でしたが、まず目を引いたのは、運動スペース全てに生徒の姿があったことでした。6面あるテニスコートは全て生徒が入って活動をしていましたし、その隣ではソフトボール部が練習試合ということでウォーミングアップをしていました。陸上部の活動スペースはサッカー部と野球部と共用なのですが、私が訪問した時にはサッカー部が二組に分かれてパス、ドリブルを繰り返し、その脇で陸上部がミニハードルを使った基礎トレーニングに励むという形でした。訪問を終えて帰る頃には、野球部がサッカー部と入れ替わって活動の準備をしていました。体育館はのぞきませんでしたが、バレー部員が校舎脇で準備運動をしており、全ての運動スペースが埋まっていると言ってよい状況だったのです。学校を挙げて部活動が盛んなことが、陸上部の活動を押し上げている一つの理由だと私は思いました。他の部活の頑張り、知らず知らずのうちに刺激になっているというわけです。

陸上部自体の強さの秘密とは言えば、部全体として高い目標を掲げていることを一番に挙げておきます。陸上部の集合場所の横の校舎の壁には、二つの標語が掲示してあります。公立の中学校ですから、他の中学校と比べて練習環境や器具が特別に整備されているわけではありません。その中で高いパフォーマンスを得るにはそれぞれの学校が工夫をしているのです。高い目標を掲げ、それが常に目に入る形で意識させる。自然と部員の士気も高まるというものです。もちろんこれには、顧問の宮澤元紀先生や加藤美也子先生の志の高さが含まれてもいるはずですが、高い志をお持ちの顧問の先生方に引張られて、部員たちは高みにのぼっていつているのだと思いました。

二つめには、空きスペースをうまく工夫して使っていることを挙げておきます。陸上部の活動スペースはサッカー部、野球部と共用です。直線コースは6～70mしか取れませんし、トラックもサッカー部と調整しながら使わなければなりません。そうした中で校舎とテニスコートの間の70メートルほどのアスファルト舗装の通路を利用して走ったり、中庭の空きスペースを砲丸投のピットとして使用したりと、不自由な中にも十分工夫して成果をあげているように思われました。県中総体では男子砲丸投で白藤君が優勝(大会新)していますが、思いっきり投げ込みができるこの施設のおかげで記録が伸びたことは間違いのないところでしょう。なお白藤君は東海中総体でも優勝し、全日中では7位に入賞しています。またジュニアオリンピックでは、15m00(県中学新)を投げて3位に入賞しています。

三つめには、部員同士の仲のよさを挙げておきます。以前に県中総体で優勝した他の中学校を訪問した時に、3学年男女合わせて123名の部員数に驚かされたことがありましたが、矢作中は想像とは違い、いたってこじんまりとした部員数でした。訪問した時には1、2年生だけで、しかも長距離グループが県の中学駅伝の試走に出掛けているということもあって、30名程度の活動でした。だからこそと言うべきでしょうか。部員の間に、男女、学年といった壁が全くないように思われました。活動は、和気藹藹とした非常によい雰囲気の中で行われていたのです。その点を加藤先生にお話してみると、小学校の時からのお仲間とおっしゃっていました。この日は久しぶりの種目別練習ということでしたが、器具の用意も片付けもみんな協力していて、仲のよさを強く感じさせられました。部員どうしばかりでなく、顧問の先生と部員の間にも暖かな空気が流れているように思いました。「仲良きことは良きことかな」です。

四つめには先輩の存在を挙げておきましょう。高校でも陸上をとっている3年生がこの日に限らず時折部活に参加しているそうで、この日は2名の男子が参加をしていました。白藤君もその一人で、種目別の時間に3人の女子と一緒に投げ込みをしていました。積極的に指導に当たるといっていいわけではありましたが、後輩の質問には丁寧に答えていました。後輩たちは問い掛けもしていましたが、それよりも白藤君の動きそのものから学んでいるところが大きいように見受けられました。活躍した先輩が身近なところで活動していれば、後輩は自然と刺激を受け、学ぶところも多いはずです。このことが伝統になっているかどうかは聞き漏らしてしまいましたが、少なくとも来年の成績に好ましい影響があることは間違いのないでしょう。強い学校には、横にも縦にもしっかりと絆があるということなのでしょう。

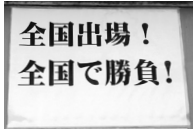
最後に、主体性について触れておきます。訪問した日は長距離グループが県中学駅伝の試走に出かけていたので、顧問の先生は4人いらっしゃるのですが、当日は加藤先生お一人でした。ですから、種目別の時間帯に全てのパートを見ることはできません。私は加藤先生と投てきのピットの所にいたのですが、そこからトラックを勢いよく駆け抜けていく短距離グループの姿が見てとれました。加藤先生からは、こうやって投てきパートに張りついていても自分たちでやっていってくれるので助かりますとのお言葉がありました。この時私は顧問の先生の指導だけで強くなるものではないとの思いも強く持ちました。

県中総体の総合得点の争いは僅差でしたので連覇は難しいかもしれませんが、今の形で部活動が行なわれていけば、部員一人一人が陸上部でよかったと思って卒業していくことだけは確実だと思われました。その中でパフォーマンスも上がっていけばと期待しながら、学校を後にしました。

(取材・文責 大西敏功 写真 加藤美也子先生)



基礎トレーニング



標語



砲丸投ピット



仲良く片づけ

された中学の先生方にも、全国大会での経験を活かし、一般の県大会でも審判していただけるよう活動していきます。

3月には名古屋ウィメンズマラソンがあります。多くの女性審判員が必要とされます。参加する多くの女性ランナーを女性審判員で支え、大会を盛り上げましょう。女性審判員の皆さん、審判にご協力よろしくお願い致します。

(谷崎 好美)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

トラックからロードシーズンへ

第1回名古屋地区陸上競技会(4月6・7日)からスタートし、名古屋地区選手権(10月5・6日)まで、延べ35日の主催共催の大会を実施しました。参加者多数のため瑞穂陸上競技場の本陸と北陸を同時開催することもありました。審判員が手薄で、参加校の顧問の先生方と学生審判の協力を得て、運営をすることもありました。各大会の総括や決算を終え、常務理事会の承認を得て、専門委員会でも来年度の大会要項作成に入りました。

今後は、ロードシーズンに入ります。特に、マラソンフィティスバルナゴヤ愛知2014には審判員が多数必要になります。競技場内の運営と違って、公道を使用する大会運営では、一つのミスも許されません。地元での大会開催が多い名古屋地区の若い審判員が期待されています。是非、都合をつけてご協力お願いします。

名古屋市陸上競技協会共催事業の紹介について

①ねりんピック名古屋マラソン交流大会選手団選考・練習会・派遣役員「こうち大会」は、10月25日(金)～28日(月)に、10km 60～69歳(男)河原善高(7位)、同(女)日江井雅子(8位)、5km 70歳以上風岡邦昭、60～69歳青山幹、3km 60～69歳寺田英之、三尾克美の6氏が参加をしました。台風一過の快晴の下10月26日(土)に開会式が行なわれ、レース当日は快晴微風、気温16℃。ゲストランナーは有森裕子さん(5kmに参加)。

さて、会場の栲原町(ゆすはらちょう)は、「竜馬脱藩の道」があることで知られ、その道がコースに組み込まれていて、かなり起伏のある林間コースでした。参加者全員が60歳以上とはいうものの上位入賞をめざし最初から飛ばしていく人もありましたが、健康というテーマに沿って他県の選手との交流を深めることを考え参加した人も多く、お互いに声をかけたり励ましたりしていました。また、コースに設けられた給水所では町の人たちとのふれ合いも有り、さらに手を取り合って笑顔でフィニッシュする光景は、結果の如何を問わず待ち受ける家族や親友、その他多くの人たちの暖かい拍手を受けていました。さて、本市選手団も風岡氏を主将に、交流を念頭に置きつつ全員が結果を残そうと、合計5回の合同練習会を実施しました。それにより選手間の結束も高まり、レースに臨みました。前述したように起伏のあるコースでしたが練習会の記録よりも良い結果を出された方もみえ、有意義な大会でありました。(水野 隆夫)

②ふれあい陸上教室 10回開催

(5月5・12日、6月23日、7月14・27日、8月3・11日、9月1・21日、11月3日)

平成9年から続く名古屋市ジュニアスポーツ教室(主催:名古屋市)の人気教室です。今年度も小学1年生から中学3年生まで250名の定員に対し、定員を上回る応募があり、これまでに4300名以上の受講者がいます。毎回、小学1～4年生は50m走を、5年生～中学生は100m走を計測し、その成長を確かめました。また、毎回、教室の終わりに希望者を募り、1000mの計測も行ないました。指導者は教員・教員OBや大学生などさまざまです。大学生には、小中学生の頃、この教室に参加していた方やベテラン指導者の教え子もいて、指導者同士の息もピッタリです。走・跳・投の動きに関わらず、子どもたちが楽しく練習できるようなコーディネートトレーニングを取り入れながら、子どもも指導者も毎回楽しく参加できるように心がけています。今後も受講した子どもたちが陸上競技をより好きになれるよう、明るく楽しく成長できるふれあい陸上教室でありたいと考えます。(大矢 新吾)

尾張陸上競技協会

平成25年度のトラックシーズンは11月2日の第3回記録会・中学新人戦をもって終了した。

今年度は多くの好記録が誕生した。中でも日本ジュニア陸上選手権(瑞穂競技場:10月20日)でハンマー投に出場した墨選手(中京大:起工高卒)が日本ジュニア新記録を達成、高校生は6名が大分インターハイに出場、また東海高校新人大会で8名が入賞し来年度の全国大会につながる成績を収めた。また、愛知投てき競技会(瑞穂北:11月9日)で坂本達哉選手(一宮南)が67m99の県高校新を出した。

中学生では第44回ジュニアオリンピックに出場した八代選手が110mHで優勝。

尾張選手権では優勝者にトロフィーを授与、この大会は多くの大会新記録が誕生して大いに盛り上がり、充実したトラックシーズンの締めくくりとなった。

長距離選手には、夏から鍛え上げた練習成果を今後の駅伝・ロードレース大会で十分発揮してもらいたい。

1 尾張陸上競技選手権大会での大会新・タイ記録達成者

	種目	氏名	所属	記録	備考
男子	100m	児島 大樹	江南高	10.65	大会新
	400m	祖父江 巧	江南高	48.81	大会タイ
	1500m	井上 暁人	一宮高	4.06.33	大会新
	110mH	真野悠太郎	滝 高	15.52	大会新
		森 泰生	AC一宮	15.89	大会新
	3000mSC	山下 大地	岩倉総合高	9.30.90	大会新
	4×100mR		起工高	43.11	大会新
やり投	坂本 達哉	一宮南高	63.95	大会新	
女子	200m	櫻山 楓	至学館大	25.53	大会新
	400m	櫻山 楓	至学館大	57.10	大会新
	1500m	横井 利沙	津島高	4.42.90	大会新
		林 由希乃	一宮高	4.42.96	大会新
	400mH	後藤 朱里	一宮西高	1.05.82	大会新
	4×100mR		丹羽高	50.53	大会新
	4×400mR		一宮西高	4.02.67	大会新

☆大会優秀選手賞は男子児島大樹選手、女子は横井利沙選手が受賞。

2 日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会

- ①墨 訓熙 ジュニアハンマー投 68.99 1位
日本ジュニア新記録
- ②坂本 達哉 ユースヤリ投 64.82 2位

3 第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会

- ①八代 貢輝 110mH 14.93 優勝

4 今後の予定

- ①尾張駅伝競走大会 26年1月19日(日)
- ②尾張陸上教室 1月12日(日)・2月8日(土)
- ③読売犬山ハーフマラソン 2月23日(日)
- ④審判伝達講習会・総会 3月23日(日)
(小島 末広)

西三河陸上競技協会

本年度は、全国中学選手権、日本ジュニア・ユース、西三河での全国聴覚障害者大会など多くの大会を、審判員の献身的な協力のもと無事終わることができましたことを感謝します。

トラックシーズンは終わりましたが、今年も西三河地域の選手は幅広く活躍してくれました。

全国小学生交流大会では、4×100mRで、6年女子が県新記録を樹立し優勝、同じく6年男子が4位(共に安城JAC)と大健闘しました。

愛知県で開催された全日中では上位入賞はありませんでしたが、男女走高跳で福岡秀太(依佐美)・浅井さくら(城北)の5位を含め5種目で入賞しました。

インターハイでは、800mの佐々木明花(岡崎城西)の8位入賞のみでしたが、国体では佐々木明花3位、棒高跳 鈴木康太(岡崎城西)2位と雪辱を果たしてくれました。成年でも110mH 古川裕太郎(小島プレス)が優勝、1000mWで前川知美(三菱自岡崎)が4位と期待どおりの活躍をしてくれました。

西三河選手権(10月5・6日)がウェーブスタジアム刈谷で開催されましたが、天候にも恵まれてかつて経験のない好成績が続出する大会となりました。

大会新記録総数22(男9女13)、種目数17(男8女9)、特に跳躍種目では男女棒高跳を除くすべての種目で大会新記録でした。女子走高跳では、高校生4名が1.70以上と、ミニインターハイかと思わせるほどの大会でした。

12月より3回の陸上教室(第1回中学生・第2回高校生、第3回選抜)が実施されますが、この教室などを大いに活用して来年度のさらなる飛躍を期待しています。

東京国体の会場において、秩父宮章外山修氏、同樋高勇二氏(実業団)、中学優秀指導者章細井太郎先生の3名が受賞されました。先生方の永年の愛知陸協・実業団への貢献・選手育成に尽力されたことに敬意を表します。今後ますますご活躍されることを願っています。(柴田 和秀)

東三河陸上競技協会

今年度のトラックシーズンでは肝を冷やした出来事があります。それは、9月22日の駅伝強化豊川長距離記録会で起きました。5000mに出場していた競技者がゴール直前で倒れ、近くにいた審判員が駆けつけると意識不明で心

肺停止状態でした。運がよかったのは、倒れた地点からトラックをはさんで20mほどのところにAEDが設置してあったことです。すぐに心肺蘇生法が行われ、心臓は動き始めましたが、意識不明のまま救急車で豊川市民病院に運ばれました。幸いにも二日後に意識がもどり一命を取りとめました。この大会が豊橋だったらと思うと、今でも背筋が寒くなる思いです。

豊橋市陸上競技場には、AEDが設置されていません。競技場の正門から300mほど離れた野球場の前の管理室に取りに行っていたらと思うとぞっとします。そのため、この大会以後の豊橋での競技会では、市民プールに設置してあるAEDを一日借りることにしました。そして、来年度には陸上競技場にもAEDを設置してもらうように、スポーツ課に強く要望しました。

次に、上半期の東三河勢の活躍について触れたいと思います。高等学校では、大分県で7月30日～8月3日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、4校から個人13名とりレー1チームが出場を果たしました。そして、男子400mで豊川高校の中川滋貴君が3位に入賞しました。女子では、1500mで豊川高校の鷺見梓沙さんが5位、3000mでも豊川高校の加治屋ななこさんが8位、100mHで豊橋南高校の萩原加奈さんが6位に入賞しました。

中学校では、地元愛知県で8月19日～22日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、8校から9名の選手が出場を果たしました。

小学校では、神奈川県で8月24日に行われた全国小学生陸上交流大会に、豊橋陸上クラブの新庄理子さんが5年100mに出場し、2位入賞を果たしました。(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会



全国大会愛知県選手団

8月23・24日に神奈川県・日産スタジアムにて第29回全国小学生陸上競技交流大会が開かれ、愛知県代表として22名の選手が参加しました。

23日はカップヌードルミュージアムを見学した後、競技場での練習となりましたが、悪天候のため雨天練習場での練習となりました。24日当日も突然の大雨や雷が心配される中どうにか天候に恵まれ、最後まで競技を行なうことができました。その結果、女子リレーでの優勝をはじめ、数種目での入賞を果たすことができました。

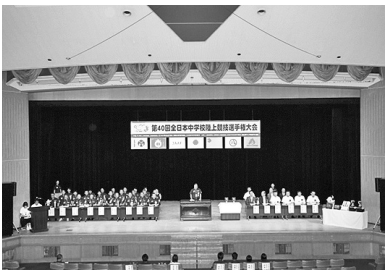
2日間という短い期間ではありましたが、選手たちは交流を深め、愛知県の代表として望ましい姿で大会に参加することができました。(石田 伸)

中小体連 愛知全中を終えて



チーム愛知

愛知全中の開催は、少なくとも私が中体連の専門委員長になった4年前には既定路線として決まっていた。実際に準備に取りかかったのは23年度からで、組織として本格的に稼働し始めたのは24年度です。昨年度は準備委員会の事務局長として授業の約半分が軽減され(代わりの講師が充当されました)、学校内に事務局が設置されました。専用の電話回線も引かれ、県と市から予算が配当され、いよいよ本格的な準備に取りかかりました。とはいえ、何から手をつけてよいやら検討もつかず、まずは先催県のデータをチェックすることから始めました。7月には全国委員長会議、8月の千葉全中を視察しました。視察といっても、参加するメンバーの人選、予算の執行、宿の手配、関係機関への連絡など多忙を極めました。何となく、でも確実に過ぎていく毎日。周りのみなさんは、「大丈夫でしょ?」といった雰囲気でしたが、全てを知る私は不安で仕方ありませんでした。



開会式

気付けば25年度に入り、準備委員会は実行委員会に名を変えました。大きな流れとしては、5月の五者会議、6月の全国委員長会議、7月のプレ大会としての県中総体、直前の東海中総体、そして全中。この流れを一つ一つ繋いでいき、着実にこなしていくことを念頭に、全てやり切る覚悟を決めました。全中を開催する上でのポイントは明確です。①審判編成 ②宿泊・輸送・駐車場 ③選手控え場所 この三点が肝要です。審判編成については、中体連のメンバーを中心に、要所(主任等)に愛知陸協と高体連の経験豊富な方々の助けをいただき、これについては何とかなる目処がつかしました。宿泊・輸送については、都市部である名古屋市での開催の場合、元々心配はありませんでした。宿は全て市内でまかなえますし、輸送についても競技場から3つの地下鉄の駅が近いということで、何ら問題はありません。一般の方が利用できる駐車場がほとんどないことも心配でしたが、事前に「駐車場は全くありません」と広くアナウンスすることで対処しました。選手の控え場所は例年大問題となります。選手・監督は少しでも快適な控え場所を確保しようとしますが、瑞穂に限らず、だいたいどの競技場でも総合公園でも禁止事項が多いものです。そこを



線り広げられた熱戦

何とか交渉し、競技場東側の林部分、野球場の軒下・2F部分などを控え場所として利用できるようにしました。各県の控え場所として、野球場の駐車場をテント村とすることで調整しました。この三点以外の最大の問題点は、招集所を第4ゲートの外側の路上に設置することでした。これに伴い、一時的に道路を封鎖しなければならず、警察の許可が必要となったのです。また、交通規制の関係で、招集所のテントを毎朝6:00に設営し、19:00までに撤去しなければならない問題も生じました。市教育委員会のスポーツ振興課の先生方の助けをいただき、この難問を何とかクリアしました。大会を迎えるにあたっての条件整備は整いつつありましたが、不安がなくなることは少しもありませんでした。

7月に入り、ホームページを本格稼働し始めたところ、一気に問い合わせが急増しました。朝から電話が鳴りっぱなしで、メールは次々入り、その対応をしているだけで一日が過



競技役員への支え

ぎる毎日になったのです。考える仕事は、深夜から朝方にかけてにしかできなくなり、それこそ眠れない日々が続きました。7月末から8月上旬にかけては、県総体、東海総体、全中の資格審査・プログラム編成を繰り返す毎日。ほぼ毎日瑞穂競技場へ通いつめました。十分に考えて用意したつもりでも、あれが足りない、これが足りないとなり、それこそ大会直前まで準備・調整に追われました。全国に向けて「アスリートファースト」「おもてなしの心」を掲げていただけに、全国から名古屋を目指す中学生のために何とかせねば、という使命感で最後は動いておりました。8月16日から会場の準備に入り、8月23日の後片付けまで怒濤の一週間。この紙面には書き残せないほどトラブルもたくさんありましたが、競技運営自体は恐ろしいほどスムーズに進行しました。連日38℃に迫ろうかという猛暑の中での競技会でしたが、熱中症、大怪我、食中毒等で救急車を要請することはありませんでした。近隣からのクレームやトラブルも驚くほど少なく、こちらが想定する以上にスムーズに大会は運営することができました。これは競技役員、協力役員、生徒役員のみなさんが、細部にわたって心を配り、配慮してくださった結果だと思っております。

ます。本当にありがとうございました。

大会が終わってからずいぶん時間が経ちました。周りの人たちからは、「いい大会だった」「成功だった」と声を掛けられますが、私の中



表彰式

ではここをこうすればもっとよくなったはずだ、という反省の思いでいっぱいです。事務局長としての一番の反省は、もっと早い段階で各部署に全てを投げるべきだったということです。そのためには、事務局がかなり先取りをして各部署に依頼するべきことを決定し、それを説明するための資料を整えておく。加えて関係各所と連携を取りながら調整を終えておく。実に単純なことです。これらが不十分であったことが本来のスケジュールから少しずつ遅れさせ、段取りを少しずつ遅れさせたのです。加えて同時進行で様々な問題が勃発するので、最後はまさに目の前のことに対処することで精一杯でした。私の能力不足、不甲斐なさで多くの方に迷惑をかけてしまったと感じております。この場をかりてお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

今回、私は多くの方々に助けていただきました。特に愛知陸上競技協会、高体連の経験豊富な先生方に助けていただき、支えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。みなさんに助けていただき、支えていただいたことに対する感謝の気持ちは一生忘れることはありません。ま

た、事務局長という立場でこのような貴重な経験ができたことは誇りでもあります。この愛知全中で得た経験を、今後の陸上競技界全体の発展に生かしていけたらと思います。

最後になりましたが、愛知全中を開催するにあたりご尽力いただきました多くのみなさま方に厚く御礼を申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。(久米 裕朗)

高体連

平成 25 年度前半を終えて

県高校駅伝も皆さんのご協力の下、終了することができました。いくつかのミスが重なり、改めて準備の大切さを痛感した大会でもありました。今後の運営に生かしていきたいと思います。この場をお借りして、ご心配をおかけしましたことをお詫びいたします。また、ご協力をいただきました諸機関の皆様にも御礼申し上げます。

高体連主催大会も残すは東海高校駅伝大会と全国高校駅伝の2大会となりました。東海高校駅伝は本年度三重県開催で、女子の記念大会であり、東海地区から地区代表1校の出場枠があります。予選会の記録をみると、愛知県からの出場が濃厚であると思います。参加する6校の学校には全力で走破していただきたいと、心から声援をお送りします。

本年度後半のT & Fは、高校生にとって大きな大会が瑞穂陸上競技場で多数行なわれました。その中で、第16回東海高校新人大会は、来年度の高校総体の前哨戦として

ホープさん ②④

坂本 達哉選手(一宮南高校 2年)



ユース選手権で2位

坂本達哉くんの今シーズンの主な成績は、やり投で出場した県新人で64m56の大会新記録で優勝、続いて東海新人でも61m00で優勝。高校生になって初めての全国大会である日本ユースでも物怖じすることなく、64m82という記録で2位となりました。最高記録は愛知投てき競技会で出した67m99(県高校新)です。県総体で7位という悔しさをバネにし、飛躍的に成長することができました。

坂本くんは中学校時代は野球部に所属しており、陸上との関わりは特設の陸上競技部でした。当時の種目は走高跳で、全日中に出場をしています。高校でも高跳かとも思いましたが、186cmという身長と秀でた運動センスを持っていることを考え、1年次は種目を絞らず、あらゆる種目に取り組ませることにしました。1年次の終わりに

は、本人の希望もあり、投擲に絞ってやっていくことに決めました。

本格的にやり投に取り組むようになってからも、走るということを念頭に置いて練習をしてきました。チーム事情もあり、リレー競技においても中心選手としての役割を担ってきました。少々酷であったかとも思いますが、走れる身体が投げられる身体に結びついたと思います。

感情や思っていることもあまり表に出さない彼ですが、自分の競技の課題や反省点を理解し、次に生かそうとしていることが言葉の端々から伝わってきます。練習時には先輩に指導をしたり、練習を引っ張る様子も見られ、精神的な頼もしさも感じられるようになりました。

来年度は彼にとって高校最後のシーズンです。現状に満足することなく、さらなる高みを目指して冬季練習に励み、活躍してくれることを期待しています。また、学校という枠をこえて多くの先生方からご指導ご支援をいただいているということに感謝をし、誰からも応援されるアスリートになってほしいと心から願っています。

今後とも暖かいご声援よろしくお願いたします。

(小出ひと美)



渾身の一投

行なわれ、台風28号の動向にかなり心配をしましたが、何とか開催することができました。愛知陸協を始め高体連の基幹役員の方には本当にご苦勞をおかけしました。心より御礼申し上げます。運営側の反省点として、高校関係者の役員欠席が目立ったことが挙げられます。来年度は東海高校総体が愛知県開催です。出席確認を確実にしたい、準備をしていきたいと思えます。

委員長になり、あっという間にトラックシーズンが終わりました。本年度の反省を生かし、よりよい高体連の運営ができるように、組織として頑張っていこうと思えます。大会結果等は競技会結果報告をご参照ください。

(石井 哲郎)

高体連定通部

トラックシーズンを終えて



国立競技場の愛知県選手団

1964年の東京オリンピック開催後に始まった定通陸上全国大会は、今年で48回を数えますが、国立競技場での開催は最後となりました。

今大会(8月12日～14日)、愛知は厳しい結果が予想されました。しかし、先陣を切って女子走高跳の山口浩美(豊橋・昼)が優勝。昨年に続いての2連覇。1m47まで岡山県の選手と競い合ったが、その後は顧問の指示を仰ぎながら大会タイ記録も跳び、国立競技場は大きな歓声に包まれました。そして、顧問から「絶対に跳べる」の声に、1m60を見事1回でクリアして大会新記録を樹立しました。興奮がさめやらない数分後には、100mHでも7位に入賞する活躍でした。その結果が認められ、女子最優秀選手賞に輝きました。女子走高跳は小柳津了世(豊橋・昼)も5位と活躍を見せました。清原香代(半田商業)が円盤投3位、砲丸投4位と昨年入賞を逃した悔しさを晴らすことができました。また、武井晴加(半田商業)も砲丸投で7位に入賞し、愛知は女子フィールドの部で優勝、女子総合でも準優勝と素晴らしい成績でした。

男子は光武悠吾(大府)がケガとも戦いながら三段跳で3位、4×400mRはコーチの指導で、4人(関・日高・川添・大竹)が力以上の走りを見せて3位。表彰台まであとひとつでしたが、400mで日高丈貴(刈谷東・夜)が4位に入るなど、男子総合でも6位の成績でした。選手たちは予想以上の力を発揮し、今年も愛知らしい結果を残すことができました。

秋季大会は10月13日(日)秋空の下、高校生活最後の大会になる選手と来年の大会をめざす選手が、互いに友情を深め合い、和気あいあいとした定通制ならではの大会となりました。記録的には豊橋高校・昼の山口浩美が女子走

高跳で自身の記録を塗り替える大会新記録の1m55を跳びました。男子総合成績で豊橋高校・昼が初優勝し、女子と合せてのアベック優勝を飾り、定通部の今年度のトラックシーズンはすべて無事終了しました。

第48回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会の入賞者
平成25年8月12日(月)～14日(水) 東京:国立競技場
男子

種目	順位	氏名	学年	校名	記録
400m	4位	日高 丈貴	3年	刈谷東・夜	53.00
800m	8位	山下 耕平	4年	大府	2.14.23
4×400mR	3位	関・日高・川添・大竹(選抜)			3.38.64
走幅跳	6位	田中 大樹	2年	豊橋・昼	5.87
三段跳	3位	光武 悠吾	2年	大府	12.32
円盤投	6位	市川 幹人	3年	科技高刈谷	28.70

女子

種目	順位	氏名	学年	校名	記録
100mH	7位	山口 浩美	2年	豊橋・昼	19.65
4×400mR	5位	渥美・長谷川・長崎・小柳津(選抜)			57.76
走高跳	1位	山口 浩美	2年	豊橋・昼	1.60 大会新
	5位	小柳津了世	4年	豊橋・昼	1.30
砲丸投	4位	清原 香代	4年	半田商業	8.56
	7位	武井 晴加	3年	半田商業	7.46
円盤投	3位	清原 香代	4年	半田商業	24.19

総合成績

男女総合	5位	56点	女子総合	準優勝	32点
男子総合	6位	24点	女子フィールドの部	優勝	26点

☆女子最優秀選手賞 山口浩美(豊橋・昼)

(松橋 政人)

実業団

トラックシーズンが終了!

第61回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会が9月20日(金)～22日(日)の日程で埼玉の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で快晴のもと盛大に開催された。最高気温日本一の町として多治見市と共に記録ホルダーであった熊谷市も四万十市にその座を明け渡した本年ではあったが、連日大変暑く中での開催だった。団体成績については、ミズノが僅差で優勝(わずか2点差)、次いで2位に富士通チーム、3位には女子に強力選手を揃えている東邦銀行チームが入った。本年は、大会に参加の実業団チーム各社から自社のノベルティーや色々な商品が提供され、競技の合間を利用して、観客に対し抽選会が合計7回行なわれた。賞品の中にはパソコンや高価な旅行バッグもあり、それを手にした観客は大喜びしていた。ちなみに抽選内容は大会プログラムを1000円で購入された方が対象で、空クジなしの抽選会だった。またこの売上金を震災義援金として実業団連合から被災地に送った。

この大会について思うことを少し述べたいと思う。高体連主催のインターハイ、学生連合主催のインカレ、そして実業団連合主催の本大会、いずれも高校、大学、企業の対抗戦の形態をとっている。参加規模や競技レベル等において違いがあるのは当然であるが、本大会の対抗戦の形式を見直して選手権形式にしてはとの議論が時折強化委員会でも話題になる。しかし、小職は対抗戦の形式は維持していくべきと考える。その理由として対抗戦であるがゆえ、

100mで優勝した川面聡大(ミズノ)あたりは200mにも出場し、400mリレーやマイルリレーにも出場して会場を沸かせてくれた。その他にも夏の世界陸上で活躍した藤光謙司(ゼンリン)も200mで優勝し、100mにも出場。それ以外にも、久保倉(新潟アルビレックス)や紫村(100mH)福本(女子HJ)等々の世界陸上出場組が多数出場して、一層盛り上げてくれた大会であったことを挙げたい。忘れてはならないのは、一方で経費も限られた予算の中で、バスで延々と7時間かけて大会前日に会場入り、そして一生懸命競技に集中しているチームもある。また一方では予算も潤沢で競技オンリーで専念できるチームもあることである。その事に対し、異を唱えるつもりは毛頭ないが、限られたチームだけの大会になってはならないし、やはり企業内スポーツとして創意工夫しながら活動しているチームも大切だ。世界に通用する選手育成には、底辺を広げる事も大切であると考え。底辺が広がらないと頂は知れている。アベノミクスも今のところ好調と推察する。企業スポーツの形態は変化してきているが、根幹の部分はそうそう劇的に変わるものではない。特に一般種目(長距離・マラソン以外)の選手諸君は、現状に妥協せずに大きな目標に向かって努力精進し、多いに飛躍してもらいたい。

2020年の東京五輪も正式に決定した。「たかが、駆けっこ! されど、駆けっこ!」 自己の可能性にふたをせずにそれぞれの立ち位置で、リスペクトの気持ちを持って、夢を大きくし、努力精進していただきたいものだ。

むすびに、当連盟競技者の古川裕太郎(小島プレス)が快挙でシーズンを締めてくれた。日本選手権こそ3位だったが、昨年に引き続き今年も、全日本実業団、国体、の2タイトルを獲得した。彼はフルタイム勤務での競技者であり、同様の境遇にある競技者にとっても大変大きな励みになったと思う。(樋高 勇二)

学 連

トラックシーズンを終えて

2013年10月12・13日に開催された東海学生秋季大会をもって今シーズンの東海学連主催の試合(駅伝を除く)は全て終了した。

オリンピックイヤーであった昨年に引き続き、今年も東海学連にとっては大きな成果が見られた一年であった。まずは7月のユニバーシアードにおける東海学連、特に愛知県出身の選手たちの活躍が挙げられる。女子10000mで鈴木亜由子選手(名大)が見事に優勝し、男子棒高跳山本聖途選手(中京大)も銀メダルを獲得した。鈴木選手は5000mにおいても銅メダルを獲得。荘司 麻衣選手(中京大)は5000m、10000mの2種目で4位入賞と健闘したが、最新の情報によると女子5000mで優勝した選手がドーピング違反により失格となったため、順位の繰り上げにより当初3位の鈴木選手の銀メダル、4位の荘司選手の銅メダルが確定した。

続く8月の世界選手権(ロシア・モスクワ)では山本聖途選手が自己ベストタイとなる5m75をマークし、見事に6位入賞を果たした。この記録は過去の世界選手権における跳躍種目での日本人最高記録である。昨年のオリンピックは記録なしに終わったが、今回自己ベストタイ記録である5m75を3回目の土壇場にクリアしたことは、大きな成長と言える。来年のアジア大会(韓国・仁川)、再

来年の世界選手権(中国・北京)、そして2016年のリオオリンピックにつなげてもらいたい。山本選手は10月に行われた東アジア大会においても5m50で金メダルを獲得している。

9月に国立競技場で行なわれた日本インカレでは、中京大学が女子総合において筑波大学に次いで2位と健闘した(男子は総合6位)。男子においては日本インカレで入賞した大学5校のうち3校(中京大、愛知教育大、豊田高専)が、女子では入賞校5校全てが愛知県下の大学(中京大、愛知教育大、至学館大、名古屋大、名城大)である。

また、今年日本インカレに優勝した4名の選手(男子棒高跳山本聖途、男子砲丸投山元隼、男子三段跳中西健人、女子七種競技桐山智衣)は全て東海3県(愛知、岐阜、静岡)の出身者であり、この地域の人材の豊富さを表すとともに、地元の選手が地元の大学に進学し、強くなっていくという強化の基本形を示しているとも言える。その意味でも愛知陸協と東海学連の今後のさらなる連携が重要であると思われる。(本田 陽)

愛知陸協 OB・OG 会

OB・OG会の秋の行事を10月24日に予定しておりましたが、あいにく台風の接近によりやむなく中止となりました。せっかく準備をしておりましたが、残念でした。

今年は8月より各種全国規模の大会が続きましたが、各大会にOB・OG会の皆様も積極的に参加され、無事大会を終了することができました。

さて、秋の行事は中止されましたが、新しい年を迎えた1月22・23日に尾張支部の担当で新年懇親会を開催する予定です。詳細は追ってお知らせいたしますが、今からご予定くださり、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。(村瀬雄一郎)

マスターズ陸上

早いもので愛知マスターズ連盟の2013年の競技は、8月11日の記録会で全ての競技会が終了しました。秋には全国大会である佐賀での全日本選手権、京都における国際ゴールドマスターズも終わり、後は3月開催の全日本マスターズ駅伝を残すのみとなりました。

まず、9月6日から8日まで、佐賀県総合運動場陸上競技場で開催された全日本マスターズ選手権大会の報告をします。この大会には全国から1590人が参加し、愛知から男子70人、女子18人、計88人の選手が参加しました。これは九州勢の福岡111人、地元の佐賀97人、大阪90人に次ぐ4番目の参加者数となりました。そのうち19人が、29種目においてチャンピオンに輝きました。

特に、全日本選手権常勝の中山淳子がW55の800m、1500m、3000mの3種目において1位、山田博嗣がM70の砲丸投、ハンマー投、碓井由紀子がW50の200m、400m、小野田三保がW45の走幅跳、三段跳、酒井あおいがW35の60m、200mにおいてそれぞれ2種目で1位となりました。これらの常勝軍団に混じって宮崎隆介がM30の走幅跳、三段跳の2種目を制し、今後常勝軍団に入れるかどうか注目される所です。

愛知は個人競技のほかリレー種目も強く、特に女子は、4×100mR年代別、共通の4×100mRのほかマスター

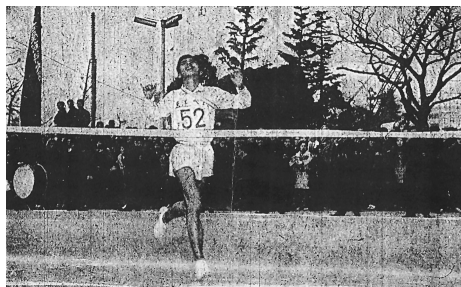
名岐駅伝いまむかし⑳

第31回大会(1965年、昭和40年1月31日)

優勝：一般一部(11チーム)東洋ベア桑名、二部(23チーム)瑞浪陸協、高校一部(15チーム)中京商、二部(19チーム)岩村
 主催の中日新聞には、「名岐駅伝チーム紹介」が5回にわたって掲載されるとともに、前日の30日には、「あす名岐駅伝―レース展望―」の見出しで〈一部は四強の争い〉として、東洋ベア、東レ愛知、鈴木自、中京大が、高校では〈八連勝が堅い中京商〉が挙げられた。また、大会当日の紙上には、前記の一般4チームと高校は暮の全国高校駅伝に出場した名商大付を加えた6チームの監督の「私の勝算」を掲載するなど、大会を大いに盛り上げた。

大会は好天に恵まれ、犬山経由の愛知、岐阜両県庁を結ぶコースで熱戦が展開された。

[レースの経緯]



A：2連勝のゴールにとび込む松田選手
 〈昭和40年1月31日 中日新聞(夕)〉

キを受けた瑞浪陸協(森、小栗義、小栗一、熊沢、黒木、松村、鈴木)が、逆に45秒差をつけて逆転し、そのまま首位をキープして、5時間01分00秒で初優勝を遂げる。

高校：〈一部〉2位となった名商大付と1区で4秒、2区で1秒の僅差ながら首位をキープした中京商(奥村、古川原、林、成瀬、竹内、鈴木、長谷川)が、4、5、7区走者の区間1位の力走もあり、終始トップをキープして、2位に1分48秒の差をつけ、2時間30分30秒でゴール。八連覇を遂げる。〈写真B〉〈二部〉岩村(安藤敏、桜井、安藤孝、三輪、伊藤、原、近藤)が、一部の中京商同様、終始トップをキープし、2位の岡崎工に4分30秒近い差をつけて、2時間35分49秒で初出場・初優勝を果たす。一般・二部の瑞浪陸協とならんで、岐阜・東濃地区のチームの健闘が光った。

2位以下の結果は次のようである(原則として、一・二部とも4位以下は愛知県勢のみ記載。また、タイムは一部3位まで、二部一位のみ記載)。

- 一般：第一部 ②鈴木自 5.01.00 ③中央発条 5.02.04 ④中京大 ⑤東洋レ愛知 ⑦トヨタ自 ⑩三菱重工名古屋
 ⑪渡玉毛織
 第二部 ②名商大 5.19.58 ③岐阜大 ④日本碍子 ⑤自衛隊愛知 ⑥愛知県庁 ⑧菊里ク ⑩安城体協 ⑪
 神戸製鋼名古屋 ⑫中電新名火力 ⑬住友軽金属 ⑭東レ名古屋 ⑮東芝名古屋 ⑯三菱電機名古屋
 ⑰協同乳業名古屋 ⑱森永乳業名古屋 ⑲名走友ク ⑳東海理化電機 ㉑日本ハードボード工業
 ㉒東海銀行 ㉓大脇和油化
 高校：第一部 ②名商大付 2.32.18 ③斐太実 2.35.48 ④大同工 ⑧渥美農 ⑩東邦 ⑭享栄
 第二部 ②岡崎工 2.40.20 ③豊橋工 ⑤新城 ⑦稲沢 ⑧刈谷 ⑨安城農 ⑩名古屋商 ⑪半田商 ⑫犬山
 ⑬豊橋商 ⑭半田農 ⑮一宮 ⑯瀬戸窯 ⑰名城大付 ⑱愛知 (西垣 完彦)

なお大会は、31回大会後、12年間中止されたが、名岐駅伝に21回大会(昭和30年)から参加した高木章治は〈名岐駅伝の思い出〉として、「私が名岐駅伝に参加したのは58年前、コースは元の中日新聞本社(中区御幸本町)一岐阜県庁(中日新聞岐阜支局)前復であった。初めての大会では、前夜来の大雪で尾北地方は40cm程の積雪となり、近隣の三高校も途中棄権。私は休んで欠場したが、翌日先輩から正座の罰を受ける。22回大会は3区を、高校生活最後の23回大会は一区を走る。翌年からは愛知県庁チームで参加し、31回大会まで連続10年、1区で区間順位4~9位をキープした。中断後の1978年の32回大会では県庁チームのアンカーを努め(繰上げ出発)、ゴール後、ある店のフロアでぐったりしたことも懐かしい思い出である。成績は12回走り、2回入賞で何より大事な1区を全て一桁で2区走者にタスキを渡したことは、チームに勢いをつけたと思う。毎回、多くの先輩方からの激励や審判員の方々の指導を受け、振り返ってみると名岐駅伝は私の青春そのものであった。1993年からは走路員として関わっていたが、2014年から休止と聞く、寂しい限りである。復活を熱望する。」と述懐している。

【お願い】次号で最終回になります。「名岐駅伝の思い出」を、どんなことでも結構ですので、ぜひご寄稿ください。

内 容：自由

締切期日：平成26年1月末日まで

字 数：300~400字程度

送 り 先：〒460-0012 名古屋市千代田二丁目19番16号 千代田ビル7F 愛知陸上競技協会「愛知陸協広報」係り

そ の 他：住所、氏名とできれば連絡先の電話番号をお書きください。



B：八連覇の優勝旗を受ける中京商チーム
 〈昭和40年2月1日 中日新聞〉

ズ陸上特有種目の混合8×100mRで1位となり、他を寄せ付けない圧勝でした。リレー種目はすごい応援で会場が大いに盛り上がり、愛知の強さが一層増幅されて、各県に強さが印象付けられているのではないかと思います。

次に、10月5・6日には、京都の西京極陸上競技場で国際ゴールドマスターズが開催されました。この大会は、マスターズ水泳連盟とマスターズ陸上連合が協同で設立した国際マスターズ競技連盟が2年に一度、マスターズ水泳大会とマスターズ陸上大会を同時に開催するものです。将来は他のマスターズのスポーツ競技団体が一緒になってマスターズのオリンピックであるマスターズピックの実現を目指している大会です。陸上競技には45歳以上の12カ国873人が参加しており、愛知から男子36人、女子17人計53人が参加しました。地元の京都74人、大阪63人に次ぐ3番目の参加者数です。

この大会での県内選手の活躍状況は、小高孝二がM45の60m、100mで1位で、60mは日本新記録でした。その他小山真一がM70の800m、1500m、山田博嗣がM70の砲丸投、ハンマー投、八代香津子がW50の60m、100m、加藤敦子がW65の円盤投、ハンマー投でそれぞれ2冠を獲得しました。その他宮本百合がW45の200mでアジア新記録、日本新記録で1位となりました。個人種目だけでなくリレー種目が物凄かった感があります。まず、男子4×100mR、同じく4×400mRで1位でした。特に4×100mRは、アジア新記録、日本新記録という見事なものでした。女子リレーは男子以上で、4×100mRのW50・W45、4×400mRのW45で1位となり、そのうちW45の2種目は、アジア新記録、日本新記録でした。

全日本選手権、国際ゴールドマスターズの大会成績を報告しましたが、愛知マスターズ陸上連盟も競争の激しい時代となってきました。かつては瑞穂陸上競技場を沸かしていた選手が、第一戦を退いた後も引き続きマスターズ陸上競技で活躍し、楽しんでくれていることです。強くて当たり前かもしれませんが、他県も同じような傾向にあり、現役時代のライバル同志がマスターズ陸上でもライバルとなり、マスターズ陸上で勝つことが至難の世界となってきています。

マスターズ陸上で勝つことも素晴らしいことですが、続けることはもっと素晴らしいことだと思います。「誰でも」「いつでも」「どこでも」「いつまでも」が生涯スポーツのモットーですので、皆さんのご加入をお待ちしています。

(佐野 昭二)

競技会報告

第73回愛知陸上競技選手権大会
兼第56回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第67回国民体育大会選手選考競技会
 2013年7月20日(土)・21日(日) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子

種目	1位	2位	3位
100m	寺田 健人 10.53 中京大	西垣 佳哉 10.56 法政大	10.71 古池 勁太 関西学院大 渡辺 将志 中央大

200m	寺田 健人 20.82 中京大	加藤 良祐 20.85 豊田工高専	古池 勁太 21.11 関西学院大
400m	岡田 壮平 47.19 法政大	鳥山 大輔 47.41 至学館大	原井川 巧 48.53 愛知教育大
800m	沼田 拓也 1.52.44 トヨタ自動車	鷺見 建亮 1.52.73 日本大	渡邊 隆介 1.53.66 名城大
1500m	中元 健二 3.56.54 愛三工業	河合 智久 3.59.77 日本福祉大	永山 周輝 4.00.31 千種高
110mH (1.067m)	古川裕太郎 13.70 小島プレス	飯田 将之 14.06 ミズノ	里地 勇飛 14.32 法政大
400mH (0.914m)	岡田 壮平 50.45 法政大	山本 躍斗 51.14 城西 AC	大久保直哉 52.63 安城学園高
3000mSC (914mm)	加藤 聡 9.18.97 トヨタ自動車	竹内 大地 9.23.27 中京大中京高	川瀬 宙夢 9.25.62 刈谷高
5000mW	木村 洋介 20.51.90 順天大	及川 文隆 21.11.86 愛知高	山田 康太 21.42.34 順天大
走高跳	赤井 裕明 2.14 愛知茗友クラブ	舟瀬 勇太 2.11 名古屋デジタル	糟谷 隆明 2.05 愛知教育大
棒高跳	鈴木 康太 5.00 岡崎城西高	小木曾優作 5.00 中京大	野口 力矢 5.00 CHUKYOSPIRITS
走幅跳	木村 友紀 7.51 愛知陸協	二宮 聡史 7.37 都留文科大学	南 晋太郎 7.19 中京大
三段跳	木村 友紀 15.41 愛知陸協	二宮 聡 14.98 小島プレス	伊藤嶺一朗 14.78 中京大
砲丸投 (7.260kg)	江崎 亮人 13.35 至学館高	松尾 卓郎 13.00 愛知教育大	白石 健太 12.70 東海大
円盤投 (2.000kg)	山形 洋平 42.36 中京大クラブ	久保 博規 42.27 中京大クラブ	平井 将斗 42.23 愛知教育大
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 63.95 中京大	一柳 英之 60.77 中京大	久保 浩司 59.99 中京大クラブ
やり投 (0.800kg)	下り藤修大 66.77 小島プレス	小野 顕佳 66.17 同志社大	大島 知之 65.62 筑波大

最優秀選手 400m 400mH 岡田 壮平 法政大

女子

(GR: 大会新記録)

種目	1位	2位	3位
100m	丹羽 愛利彩 12.00 愛工大名電高	杉山 美貴 12.09 中京大中京高	浜田 奈子 12.26 愛知高
200m	中野 真琴 24.70 安城学園高	野村 真由 24.83 至学館高	梶浦みずき 24.89 愛知高
400m	野村 真由 55.37GR 至学館高	木引悠起子 55.41 愛知教育大	竹内麻里子 56.02 中京大
800m	竹内麻里子 2.08.27 中京大	佐々木明花 2.10.32 岡崎城西高	吉川 侑希 2.11.33 愛知教育大
1500m	中根 千明 4.27.80 中京大中京高	茶谷 琴恵 4.28.53 豊川工高	安藤 実来 4.28.82 愛知教育大
100mH (0.840m)	飯田 美咲 13.85 中京大	岸 沙耶香 13.93 小島プレス	萩原加奈子 13.96 豊橋南高
400mH (0.762m)	大谷友梨恵 1.00.91 至学館大	西尾真梨子 1.02.05 至学館大	北野喜里帆 1.03.15 愛知淑徳高
3000mSC (762mm)	清水 百恵 11.46.30 中京大中京高	伊藤妃芽香 11.56.66 津島高	川村 優衣 12.01.75 岡崎城西高
5000mW	前川 知美 23.51.22 三菱自動車岡崎	杉本 梨保 24.37.00 至学館高	長田 彩果 25.22.65 中京大
走高跳	笹島 藍 1.71 愛知アスリート	杉浦 澄美 1.71 岡崎城西高	樋口明日美 1.65 中京大クラブ
棒高跳	佐藤 愛 3.40 中京大中京高	今泉 友里 3.20 岡崎城西高	竹内 朱里 3.20 岡崎城西高
走幅跳	浅井 真子 5.78 中京大	石原 薫子 5.70 岡崎城西高	松山 衣里 5.53 中京大
三段跳	小川 詩織 12.01 愛知アスリート	中山 怜佳 11.72 岡崎城西高	水野 捺恵 11.41 愛知教育大
砲丸投 (4.000kg)	丸山 夏美 11.46 碧南高	佐藤 眞子 11.05 大府高	岡田はるな 11.04 三好高

円盤投 (1.000kg)	北見 仁美 40.94 東海大	近藤 瞳 39.05 至学館大	丸山 夏美 35.94 碧南高
ハンマー投 (4.000kg)	野田 奈央 56.26 名古屋学院クラブ	近田 茜 48.26 国際武道大	田口 優 46.70 一宮北高
やり投 (0.600kg)	横山真理奈 45.67 至学館大	森 凧紗 45.26 名城大附属高	高塚 裕子 44.61 中京大

最優秀選手 800m 竹内 麻里子 中京大

第59回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第40回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第68回国民体育大会選手選考競技会(少年B・共通)
 2013年7月15日(月・祝) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR:大会新記録 ◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	戸田 健太 12.07 安城北	松山 卓暉 12.22 小坂井	石川 郁海 12.27 新川
1年 1500m	中倉 啓敦 4.33.79 神の倉	山盛 翔大 4.35.31 名南	荒木 幸平 4.35.46 甲山
2年 100m	筒井 幹太 11.47 高師台	梅谷 将成 11.73 大口	為 悟 11.75 平坂
3年 100m	原田 剛 11.13 ◎大塚	松永 乃樹 11.13 ◎御幸山	中澤 悠哉 11.23 ◎小坂井
200m	中澤 悠哉 23.18 小坂井	水野 駿佑 23.33 大口	彦坂 陽平 23.48 振甫
400m	西田 悠人 52.67 竜南	藤嶋 一輝 53.43 岡崎北	若月 俊宏 53.96 神丘
800m	平塚 翔太 2.04.13 竜神	前田 智広 2.04.23 江南西部	山田 翔雅 2.04.37 横須賀
1500m	戴野 正大 4.12.87 豊川一宮	山下 和希 4.13.33 翔南中	内山 将志 4.16.03 五並
3000m	内山 将志 9.06.30 五並	平塚 翔太 9.07.94 竜神	森下 澁太 9.11.19 福江
110mH (0.914m)	中西 潤 15.06 六ツ美北	森岡 駿介 15.20 豊橋中部	大原健太郎 15.41 古知野
4×100mR	御幸山 44.16 角谷 俊弥GR 林 裕人 林 龍平 松永 乃樹	田原 44.63 前橋 竣耶 森川伸太郎 和田 瑞輝 渡會 康貴	長良 44.82 酒井 幹生 齊藤 諒平 宇佐美 潤 清水 佑
走高跳	光崎 剛史 1.85 ◎木曾川	福岡 秀太 1.85 ◎依佐美	杉本 康拓 1.79 鶴城
棒高跳	松永 乃樹 4.32 ◎御幸山	五十嵐隆太 3.70 宮田	3.70 井上 啓吾 矢作北 戴押 誠右 矢作北
走幅跳	大久保光祐 6.40 翔南中	稲垣 聡 6.34 平坂	津曲 章太 6.30 大府
砲丸投 (5.000kg)	白藤 聖陽 13.86 ◎矢作	加藤 大夢 13.40 ◎高蔵寺	夏目 拓弥 12.10 高蔵寺

女子 (◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	都築 美音 13.14 東浦	天神 綾音 富塚日南々	尾張旭西 常滑 13.26
2年 100m	長谷川愛樹 12.70 守山北	川端 真奈 12.99 東山	山本 里菜 13.01 六ツ美北
3年 100m	掛川 栞 12.43 ◎栄	釜田 留奈 12.72 山王	谷元 見優 12.73 高針台
200m	白田菜々美 25.95 御幸山	鈴木 朱音 26.56 大高	長谷川愛樹 26.70 守山北
800m	西川 優衣 2.17.13 東陽	井内 月野 2.19.44 半田	宇野 佑紀 2.20.97 常磐
1500m	塚本 茜 4.49.65 平坂	松井 優実 4.49.87 高豊	平形 綾乃 4.50.97 高豊

100mH (0.762m)	鈴木 瑞希 14.84 ◎扇台	加納 礼菜 15.28 香流	山中菜々子 15.31 竜北
4×100mR	御幸山 50.62 紀本みいな 白田菜々美 相田真理子 佐藤さりな	安城北 51.71 中野加奈子 伊奈真季子 増子 紗和 後藤 玲奈	竜北 51.73 谷崎 音花 山田 陽菜 山中菜々子 古賀 珠那
走高跳	榊原至佳子 1.60 ◎成岩	中根 萌 1.60 ◎西尾東部	浅井さくら 1.60 ◎城北
走幅跳	吉見はるか 5.40 ◎鶴城	姉崎 彩乃 5.27 大口	宮川 杏奈 5.25 みよし南
砲丸投 (2.721kg)	榊原 梨子 13.14 ◎吉良	倉又 彩 11.47 知多中部	鈴木 聡子 11.29 守山西

第67回愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会
 2013年7月28日~30日 瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR:大会新記録 ◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	戸田 健太 12.06 安城北	鈴木 一剣 12.14 北方	松山 卓暉 12.19 小坂井
2年 100m	伊藤 康祐 11.37 形原	大原 康平 11.42 神沢	筒井 幹太 11.44 高師台
3年 100m	和田 瑞輝 11.12 ◎田原	彦坂 陽平 11.35 振甫	大参 祐輝 11.41 安城南
200m	中澤 悠哉 22.57 ◎小坂井	水野 駿佑 22.95 大口	伊藤 孝哉 23.11 二川
400m	西田 悠人 50.78 ◎竜南	権田 遼 52.01 豊川西部	藤嶋 一輝 52.10 岡崎北
800m	山田 翔雅 2.01.32 ◎横須賀	古田 真也 2.02.27 依佐美	伊藤 壮太 2.03.41 泉
1年 1500m	荒木 幸平 4.29.88 甲山	藤原 隆公 4.31.53 甲山	大上 颯麻 4.32.75 猿投台
2年 1500m	近藤 寛人 4.23.54 知立南	河合 陽平 4.24.16 田原東部	植田 雅弘 4.24.28 高橋
3年 1500m	内山 将志 4.13.28 五並	戴野 正大 4.13.56 一宮	山下 和希 4.16.02 翔南
3000m	平塚 翔太 9.02.70 竜神	森下 澁太 9.03.71 福江	野川 寛太 9.04.77 みよし北
110mH (0.914m)	八代 貢輝 14.63 ◎佐織	森岡 駿介 14.85 ◎豊橋中部	中西 潤 14.99 ◎六ツ美北
低学年 4×100mR	高師台 46.80 鳥山 由真 中谷 竜麻 中谷 将麻 筒井 幹太	滝 47.58 吉田 圭佑 吉田 潤平 堀江 一平 伊藤 僚英	安祥 47.63 杉浦 聡太 河内ダニエル 朝倉 拓海 吉川翔太郎
4×100mR	長良 44.73 宇佐美 潤 齊藤 諒平 酒井 幹生 清水 佑	田原 44.73 前橋 竣耶 森川伸太郎 和田 瑞輝 渡會 康貴	安城北 44.81 山口駿太郎 福島 史也 寺本 博之 伊藤 廉
走高跳	久保 快斗 1.82 矢作	服田 昌浩 1.79 有松	大蔵 祐貴 1.79 長良
棒高跳	松永 乃樹 4.36GR ◎御幸山	瀧川 智貴 3.80 城山	浅井 康吉 3.60 知多八幡
走幅跳	大久保光祐 6.54 ◎翔南	宮田 龍樹 6.34 知立南	渡邊 優雅 6.33 大治
砲丸投 (5.000kg)	白藤 聖陽 14.42GR ◎矢作	加藤 大夢 13.36 ◎高蔵寺	夏目 拓弥 11.67 高蔵寺
四種競技 (オープン)	柴田 一瞬 2395 美川	井之上裕介 2272 平坂	山本 佑紀 2262 西尾東部

女子 (◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	都築 美音 13.13 東浦	生田奈緒子 13.30 本郷	天神 綾音 13.36 尾張旭西

陸上競技場めぐり⑥

半田陸上競技場

半田市は、知多半島および衣浦の中核都市として、住み、働き、学び、憩い、楽しむことのできる「健康で明るく豊かなまち」をめざしてきた。昭和40年代後半には、健康への関心が高まり、全国的な傾向として住民のスポーツ・レジャーに対する要求が強まってきた。こうしたニーズの受け皿として、施設や公園の整備が課題となり、総合計画において「教養ゆたかなまちづくり」の生涯教育充実の一環として、児童からお年寄りまで多くの人々がスポーツを楽しむことができる『広域的な総合運動施設』の設置を打ち出した。

計画にともなって、知多半島の真中の丘陵地の半田運動公園が整備された。運動施設のメイン施設として、故大岩勲先生、故岩本六四先生をはじめ半田市陸上競技協会役員の熱意により「陸上競技場」建設が決定した。そのほかにテニスコート（全天候型8面）・多目的グラウンド（軟式野球2面）、レクリエーション施設としてデイキャンプ場・芝生広場・ちびっこ広場等があり、駐車場は724台を収容できる。

平成13年4月に、当時としては数少ない全天候型9レーントラック・3000mSC用水壕の可変移動式障害物と電気計測装置を備え、メインスタンド3000人芝生スタンド6000人収容、夜間照明4基、大型スコアボードをも備えた公認2種陸上競技場が完成した。

東海学生夏季大会・愛知中学駅伝大会なども行なわれてきたが、現在は名古屋地区の競技大会と国体合宿及び愛知陸上競技教室の知多会場、名古屋地区強化練習会場として使用されている。

今後は、愛知陸協をはじめ実業団・大学・高校・中学等の皆様の力を借りて当競技場の特性（9レーン・ナイター設備・広い駐車場）を活かした競技大会が開催できることを望んでいる。

また、温暖な地区であるので、合宿・練習会場として使用してください。

(八田 定丸)

* 半田運動公園陸上競技場の概要

- ・所在地 半田市池田町三丁目1番地
- ・公認 公認第3種陸上競技場
- ・レーン 全天候型舗装 9レーン
- ・雨天走路 3レーン 35m 2面
- ・収容人数 9,000人
- ・ナイター設備 4基



2年 100m	長谷川愛樹 12.69 守山北	山本 里菜 12.76 六ツ美北	水上 真里 12.90 城北
3年 100m	掛川 栞 12.30 ◎栄	谷元 見優 12.55 ◎高針台	藤原 実紗 12.79 鶴城
200m	白田菜々美 26.02 御幸山	鈴木 朱音 26.44 大高	佐藤さりな 26.48 御幸山
1年 800m	細井 衿菜 2.20.89 矢作	中野 紗希 2.21.85 山田	平松 琴美 2.21.90 田原
800m	井内 月野 2.16.10 ◎半田	宇野 佑紀 2.17.51 常磐	鈴木 麻椰 2.17.90 田原
1500m	西川 優衣 4.42.29 東陽	酒井 美有 4.42.81 栄	川口 桃佳 4.43.59 福江
100mH (0.762m/8m)	鈴木 瑞希 14.69 ◎扇台	加納 礼菜 14.99 香流	平塚 由季 15.13 東山
低学年 4×100mR	東山富士 52.74 平野 絢瀬 駒木 遥 岩越 麻弥 中村 天音	高橋 52.84 鈴木 美沙 佐々木希ら里 近藤 夕雅 津野 優	安城北 53.07 蓮沼 優花 浅岡 陽名 池田 美琴 森 みくる
4×100mR	大高 49.99 柴崎 五月 山口 優奈 江頭 亜美 鈴木 朱音	鶴城 50.12 堀辺 知里 岩崎 希依 藤原 実紗 吉見はるか	長良 50.72 川村詩絵理 林 里菜 森 雪月 若杉 美玲
走高跳	榊原至佳子 1.67 ◎成岩	中根 萌 1.60 ◎西尾東部	原 侑子 1.57 ◎美川
走幅跳	吉見はるか 5.53 ◎鶴城	軒村 香穂 5.32 竜南	明星 光 5.30 猿投
砲丸投 (2.721kg)	榊原 梨子 13.20 ◎吉良	倉又 彩 11.98 知多中部	星加きさら 11.77 助光
四種競技 (オープン)	加納 礼菜 2573 香流	横井 里帆 2187 富士	齊本 弥来 2186 富士

学校対抗総合順位

	1位	2位	3位
男子	矢作	高師台	六ツ美北
女子	鶴城	大高	御幸山

平成25年度全国高等学校総合体育大会
秩父宮賜杯第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
平成25年7月30日(火)～8月3日(土) 東北電力ビッグスワンスタジアム

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
400m	3	46.97	中川 滋貴	豊川
110mH	7	14.66	矢野 智大	中京大中京
5000mW	5	21.16.72	及川 文隆	愛知
4×400mR	8	3.16.32	中野 俊助	名古屋
			掛川 真	
			古元 翼	
三浦 成皓				
走幅跳	5	7.16	二宮 聡史	岡崎北
八種競技	6	5442	平林 卓磨	名城大附

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	3	11.98	杉山 美貴	中京大中京
800m	7	2.11.54	佐々木明花	岡崎城西
1500m	5	4.17.49	鷲見 梓沙	豊川

3000m	8	9.09.12	加治屋ななこ	豊川
100mH	6	14.04	萩原加奈子	豊橋南
400mH	4	1.00.46	北野 有紀	愛知淑徳
走高跳	3	1.71	松井 紗希	中京大中京
七種競技	8	4721	貫井 茜	明和

第35回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
2013年8月10日 瑞穂公園陸上競技場

男子

種目	1位	2位	3位
1年100m	戸田 健太 11.86 愛知・安城北	根尾 昂 11.90 岐阜・古川	松山 卓暉 12.03 愛知・小坂井
2年100m	中道 泰貴 11.22 静岡・浜松北浜	遠藤 慶人 11.37 岐阜・陶都	伊藤 康祐 11.39 愛知・形原
3年100m	彦坂 陽平 11.13 愛知・振甫	野原 幹汰 11.20 岐阜・池田	阪倉 慶一 11.23 三重・内部
1年1500m	岩城 亮介 4.29.22 静岡・函南	小澤 大輝 4.29.51 静岡・裾野深良	渡辺 良太 4.30.53 静岡・函南
2年1500m	松島 彰吾 4.13.78 静岡・浜松北浜	池田 卓矢 4.17.04 静岡・浜松三ヶ日	田中 蒼大 4.17.50 愛知・豊橋南陵
3年1500m	小倉 知也 4.15.43 静岡・浜松曳馬	藤村 拓海 4.15.57 岐阜・多治見	内山 将志 4.15.63 愛知・五並
200m	中澤 悠哉 22.44 愛知・小坂井	水野 駿佑 22.53 愛知・大口	今村 勇太 22.70 三重・内部
400m	西田 悠人 51.34 愛知・竜南	山本フェビウス 51.40 三重・西橋内	佐久間孝大 52.28 岐阜・麗澤瑞浪
800m	平塚 心 2.00.05 静岡・浜松春野	本多 慶紀 2.00.37 静岡・森	上村 直也 2.00.50 三重・楠
3000m	藤原 慎 9.02.13 静岡・浜松龍玉	亀田優太郎 9.06.98 静岡・浜松浜名	平塚 翔太 9.08.08 愛知・竜神
110mH (0.914m)	八代 貢輝 14.69 愛知・佐織	森岡 駿介 14.82 愛知・豊橋中部	小林 慧吾 14.95 愛知・千種台
低学年 4×100mR	大垣西部 46.54 板垣 拓実 野村 柚貴 松岡 浩平 井町 侑久	高師台 47.06 鳥山 由真 中谷 竜麻 中谷 将麻 筒井 幹太	羽田 47.39 海川 達哉 夏目寛太郎 中村 優太 高橋 舞羽
4×100mR	池田 44.05 窪田 航平 坪井 貴一 長岡 秀太 野原 幹汰	内部 44.40 加藤讓一郎 阪倉 慶一 上野 大輝 今村 勇太	坂本 44.55 安藤 篤 鎌田 涉柳 古山 翔太 福田 聖汰
走高跳	福岡 秀太 1.89 愛知・依佐美	久保 快斗 1.89 愛知・矢作	野田 卓広 1.89 静岡・浜松雄踏
棒高跳	松永 乃樹 4.50 愛知・御幸山	窪田 大輝 4.40 静岡・浜松天竜	小林 俊介 4.30 三重・多気
走幅跳	福田 聖汰 6.63 岐阜・坂本	宮田 龍樹 6.37 愛知・知立南	西川 悠真 6.37 三重・嬉野
砲丸投 (5.000kg)	白藤 聖陽 14.06 愛知・矢作	佐藤 勇樹 13.81 静岡・静岡安東	石川 智大 13.52 静岡・静岡安東

女子

(GR: 大会新記録)

種目	1位	2位	3位
1年100m	鈴木 聖菜 12.83 静岡・浜松南陽	吉川理香子 12.87 三重・緑ヶ丘	木村 風沙 13.02 静岡・下田
2年100m	磯谷 友里 12.52 岐阜・聖マリア	山本 里菜 12.69 愛知・六ツ美北	齋藤 紫眞 12.72 三重・五十鈴
3年100m	掛川 栞 12.29 愛知・栄	谷元 見優 12.49 愛知・高針台	渡邊 菜月 12.61 静岡・清水第四
200m	伊藤 有那 25.28 岐阜・大垣西部	白田菜々美 25.72 愛知・御幸山	望月 あん 25.75 静岡・富士南
1年800m	細井 柰菜 2.24.65 愛知・矢作	中野 紗希 2.24.96 愛知・山田	牛 佳慧 2.25.69 静岡・浜松入野

800m	井内 月野 2.16.64 愛知・半田	佐々木渚沙 2.17.35 静岡・吉原第二	猪塚 真希 2.19.86 愛知・東浦北部
1500m	渡邊菜々美 4.41.51 静岡・函南東	西川 優衣 4.41.85 愛知・東陽	竹平優花子 4.42.48 静岡・浜松三ヶ日
100mH (0.762m)	桜本 怜奈 14.05GR 三重・多気	安達 萌乃 14.21 岐阜・美濃加茂東	園原 晶 14.30 岐阜・坂下
低学年 4×100mR	下田 50.49GR 石川 絢那 村山 鈴果 木村 風沙 福永 亜美	度会 52.00 井戸本留実 吉田二千翔 福本さくら 中山 美紅	富士 52.64 平野 絢瀬 駒木 遥 岩越 麻弥 中村 天音
4×100mR	静岡服織 50.58 須田 遥日 倉澤 綾 水野 佑香 高橋かやの	静岡東 50.71 福沢 海帆 小野田史紗 佐野紗智子 大塚はるな	二川 50.89 山本 菜月 山本 朋夏 武田 菜奈 森本 あみ
走高跳	榊原至佳子 1.67 愛知・成岩	浅井さくら 1.64 愛知・城北	中根 萌 1.61 愛知・西尾東部
走幅跳	小野田史紗 5.54 静岡・静岡東	川口 美聡 5.47 静岡・東海大翔洋	有海 朱音 5.42 静岡・菊川西
砲丸投 (2.721kg)	増田 奈緒 14.20 静岡・静岡賤機	浦田 晏那 14.12 三重・多気	榊原 梨子 12.98 愛知・吉良

第34回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会
2013年9月23日(月) 瑞穂公園陸上競技場

(クラス: A...中学3年 B...中学2年 C...中学1年)

種目	1位	2位	3位	
男子A	100m	原田 剛 11.25 大塚	松永 乃樹 11.33 御幸山	彦坂 陽平 11.50 振甫
	200m	大参 祐輝 22.73 安城南	水野 駿佑 22.98 大口	中澤 悠哉 23.23 小坂井
	3000m	山下 和希 8.58.73 翔南	内山 将志 9.04.32 五並	青山 尚大 9.07.21 宮田
	110mH (0.991m)	八代 貢輝 15.33AC 一宮	森岡 駿介 15.60 豊橋陸上クラブ	小林 慧吾 15.68 千種台
男子A	走高跳	福岡 秀太 1.94 依佐美	久保 快斗 1.85 矢作	1.80 藤森 俊秀 電海 服田 昌浩 有松 大蔵 祐貴 長良
	砲丸投 (5.000kg)	白藤 聖陽 14.24 矢作	夏目 拓弥 11.61 高蔵寺	石山健太郎 10.67 西尾
男子B	100m	大原 康平 11.46 なごや陸上クラブ	伊藤 康祐 11.56 形原	筒井 幹太 11.65 高師台
	1500m	近藤 寛人 4.10.45 知立南	田中 蒼大 4.12.56 豊橋南陵	山本 起弘 4.17.19 豊川東部
	110mH (0.914m)	金井 駿賢 15.82 石巻	山本 聖真 16.01 東海	手島 天 16.06 西尾東部
	走幅跳	大塚 隆真 5.76 豊橋東部	小柳津瑛斗 5.70 代田	黒野 慧 5.58 城北
男子B	砲丸投 (4.000kg)	猪上 凌太 12.67 高蔵寺	安藤 晃平 12.42 石巻	遠藤麻緒斗 12.04 高蔵寺
	100m	戸田 健太 12.02 安城北	松山 卓暉 12.07 小坂井	河内ダニエル 12.14 安祥
	1500m	松下 空 4.24.76 安城南	金澤 稜己 4.25.94 豊川西部	藤原 隆公 4.26.69 甲山
	走幅跳	藏田 源貴 5.62 なごや陸上クラブ	尾河 亮太 5.56 萩山	中村 伊吹 5.43 豊明
男子B	砲丸投 (4.000kg)	石田 草太 10.26 古知野	高須 郡 9.11 西尾	鈴木健太郎 8.82 大高
	棒高跳	五十嵐隆太 3.80 宮田	井上 啓吾 3.60 矢作北	八谷 希生 3.40 古知野
	円盤投 (1.500kg)	太田 黎生 31.03 河和	倉野 修宏 30.26 はとり	津田 泰豊 30.17 古知野
	ジャベリック スロー	藤谷 拓 63.69 平針	佐藤 暖 60.80 平針	神谷浩二郎 60.32 雁が音

男子共通	走高跳	成瀬 太一 1.75 宮田	永井 貴也 1.70 知多中部	石川 諒太 1.70 岡崎南	
	女子A	100m	白田菜々美 12.74 御幸山	花井 環 13.01 刈谷東	増山 彩音 13.15 岡陸上クラブ
		200m	掛川 菜 25.88 栄	古賀 珠那 26.93 竜北	清水 麻史 27.02 神丘
		3000m	西川 優衣 9.47.40 愛知陸協	川口 桃佳 9.55.64 福江	井内 月野 10.16.29 半田
		100mYH (0.762m)	鈴木 瑞希 14.99 扇台	長屋 美月 15.37 千種台	平塚 由季 15.48 東山
		走高跳	榊原至佳子 1.70 成岩	浅井さくら 1.60 城北	塚田 彩楓 1.57 桜田
砲丸投 (4.000kg)	石本 瞳 9.89AC 一宮	山浦あみか 9.29 六ツ美	倉又 彩 8.79 知多中部		
女子B	100m	山本 里菜 12.78 六ツ美北	長谷川愛樹 12.97 守山北	柴崎 五月 13.02 大高	
	1500m	酒井 美有 4.43.10 栄	松井 優実 4.43.28 高豊	宇野 佑紀 4.46.87 常磐	
	100mH (0.762m)	江頭 亜美 14.86 大高	古橋 佳奈 15.22 桜田	川崎 瞳 15.27 長良	
	走幅跳	宮川 香奈 5.27 きらめきAC愛知	吉村 月乃 5.14 東浦	吉見はるか 5.07 鶴城	
	砲丸投 (2.721kg)	丹鳥あやめ 11.42 北陵	名倉 千遥 11.35 大府西	近藤 沙南 10.31 竜海	
女子C	100m	生田奈緒子 13.14 本郷	都築 美音 13.15 東浦	佐々木希ら里 13.20 高橋	
	800m	平松 琴美 2.20.57 田原	細井 衿菜 2.20.92 矢作	市原 和佳 2.21.80 知多旭南	
	100mH (0.762m)	蛭川 真未 15.83 成岩	木野村 萌 16.79 萩山	明上 桐子 17.15 牧の池	
	走幅跳	富塚日南々 4.97 常滑	都築 陽奈 4.73 保見	安藤由梨花 4.71 刈谷南	
女子C	砲丸投 (2.721kg)	高井 萌香 8.64 岩津	鈴木優希菜 8.57 平針	大久保春香 8.53 矢作	
女子共通	走高跳	石川 奈奈 2.60 御幸山	宇田 祥菜 2.50 御幸山	三上かな子 2.20 守山	
女子A B C 共通	棒高跳	鈴木 聡子 27.52 守山西	僧理みのり 25.52 高蔵寺	小原 桃華 25.18 大高	
	円盤投 (1.000kg)	榊原 梨子 48.57 吉良	星加きらら 47.64 助光	河合 愛衣 41.32 武豊	
	ジャベリック スロー	入江 晴香 1.53 甲山	永田 佳子 1.50 豊橋陸上クラブ	宮田 歩美 1.45 豊国	

4×100mR	中京大中京 41.61 渡邊圭一郎 村瀬 翔太 遠藤 侑汰 新美 泰地	豊川 41.63 鈴木 雄大 天野 広大 鈴木 柊弥 黒木 省悟	名古屋 42.07 稲垣 晃隆 小川 太郎 鈴木 日向 渡邊 涼介
4×400mR	中京大中京 3.17.50 大澤 京介 遠藤 侑汰 政岡 薫 村瀬 翔太	岡崎城西 3.18.86 中島 豪 川端 健太 佐藤 礼基 廣木 脩斗	瑞陵 3.21.47 稲垣 孝祐 浅井 良 正木 文瑛 金田 将成
走高跳	中島 恭佑 2.06EGR 安城学園	水谷 来 2.06EGR 岡崎城西	1.97 神谷 誠 安城学園 近藤 雅哉 岡崎城西
棒高跳	山添 琢郎 4.30 豊川	千藤 瑛司 4.20 豊川	4.10 立石 雄介 岡崎城西 中山 研祐 岡崎城西 高橋 幸大 中京大中京
走幅跳	永尾 直哉 7.03 豊田大谷	伊藤 裕也 6.98 時習館	渡邊 涼介 6.97 名古屋
三段跳	伊藤 裕也 14.28 時習館	中島 恭佑 14.25 安城学園	鳥居 凌大 14.24 岡崎城西
砲丸投 (6.0kg)	清水 和樹 13.41 春日井工	石井 健史 12.67 春日井工	山崎 優太 12.60 至学館
円盤投 (1.750kg)	西尾 篤史 38.61 守山	鈴木 慶彦 36.65 向陽	岩田 知大 36.59 一宮北
ハンマー投 (6.0kg)	清水 和樹 50.97 春日井工	古旗 崇裕 47.98 名古屋大谷	榊間 迅 46.89 一宮工
やり投 (800g)	坂本 達哉 64.56GR 一宮南	藤原 俊也 60.44 名古屋大谷	大浦 優汰 57.02 安城学園
総合	岡崎城西 50.5	中京大中京 34	豊川 29
トラック	中京大中京 30	岡崎城西 29	愛知 27
フィールド	岡崎城西 21.5	安城学園 18.5	春日井工 17

女子 (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	ノベラアリサ 12.57 豊橋南	菅嶋 悠乃 12.65 名城大附	柴山沙也香 12.68 至学館
200m	梶浦みずき 25.49 愛知	柴山沙也香 25.85 至学館	ノベラアリサ 25.86 豊橋南
400m	梶浦みずき 56.35GR 愛知	伊藤 里帆 56.84 愛知	羽田 彩乃 57.43 至学館
800m	向井 智香 2.14.66 至学館	諸富 愛奈 2.15.87 岡崎城西	東出早紀子 2.17.72 豊橋東
1500m	川野 桃子 4.39.33 安城学園	國分 美月 4.42.24 愛知黎明	諸富 愛奈 4.43.06 岡崎城西
3000m	鈴木 智子 9.42.02 千種	川野 桃子 9.57.32 安城学園	國分 美月 9.57.67 愛知黎明
100mH (0.840m)	小林紗矢香 14.59 安城学園	内山はるな 14.63 豊橋南	藤原 涼花 14.67 岡崎城西
400mH (0.762m)	高野 莉万 1.03.10 明和	高畑 真鈴 1.04.27 豊橋南	横井亜里彩 1.04.29 安城学園
5000mW	杉本 梨保 26.11.01 至学館	斎藤 美月 26.16.21 名経大高蔵	青山 眞子 26.24.92 瑞陵
4×100mR	愛知 47.81 一ノ瀬安葉 梶浦みずき 伊藤 里帆 吉田 紗弓	豊橋南 48.26 羽田 千夏 内山はるな 柴田 琴美 ノベラアリサ	名城大附 48.88 原田 瑠子 菅嶋 悠乃 樋口 史佳 稲葉 水保
4×400mR	愛知 3.52.77 一ノ瀬安葉 伊藤 里帆 吉田 紗弓 梶浦みずき	至学館 3.57.08 水野 瑛梨 宮脇 玲菜 大蔵 伊織 羽田 彩乃	光ヶ丘女子 3.57.71 河島 可恵 吉岡 鮎美 粉山 七星 深谷 茜

平成25年度愛知県高等学校新人対校陸上競技大会
平成25年9月28日(土)・29日(日) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (3位まで GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	黒木 省悟 11.03 豊川	渡会 元貴 11.13 時習館	秋江 洋志 11.20 一宮
200m	村瀬 翔太 21.81 中京大中京	遠藤 侑汰 21.91 中京大中京	黒木 省悟 21.99 豊川
400m	祖父江 巧 48.69 江南	浅井 良 49.27 瑞陵	佐治 啓亮 49.34 旭野
800m	山根 康太 1.57.15 岡崎西	宮地 湜太 1.57.37 岡崎北	中島 啓輔 1.57.42 国府
1500m	大川 隼平 4.01.27 愛工大名電	飯島 康介 4.01.32 愛知	梅村 一輝 4.01.42 千種
5000m	山藤 篤司 15.05.15 愛知	三上 嵩斗 15.08.48 岡崎城西	堤 完一 15.11.07 愛工大名電
110mH (1.067m)	政岡 薫 15.26 中京大中京	近藤 雅哉 15.27 岡崎城西	岩崎 聖 15.76 東海
400mH (0.914m)	牛垣 翔太 54.81 岡崎城西	真野悠太郎 55.04 滝	久永健太郎 55.28 岡崎
3000mSC	水野 晃良 9.22.19 愛知	山下 大地 9.22.64 岩倉総合	小林 尚詳 9.33.79 豊橋工
5000mW	山中 龍徳 23.30.20 西春	富田 繁 23.33.80 岡崎北	浅見 風太 23.38.46 長久手

走高跳	大和田ゆうか 1.67 豊川	金城 柚花 中西 美早	安城学園 岡崎城西 1.64
走幅跳	森 あや 5.50 至学館	八瀬 友香 5.42 中京大中京	山下 留奈 5.39 渥美農
砲丸投 (4.0kg)	佐藤 眞子 11.30 大府	中村 彩花 10.86 豊橋東	早瀬 名那 10.74 瑞陵
円盤投 (1.0kg)	中内 真悠 34.30 安城学園	能澤 照実 33.97 名古屋大谷	小林 杏奈 33.80 名古屋大谷
やり投 (600g)	寺田 美紅 40.82 岡崎商	平岩 あい 39.50 名城大附	河口 侑紀 39.20 名東
総合	至学館 49	安城学園 36.5	愛知 32.5
トラック	至学館 38	愛知 32.5	豊橋南 28
フィールド	安城学園 12.5	至学館 11	大府 9

400m	日高 丈貴	刈谷東夜	53.8
800m	山下 耕平	大 府	2.15.9
1500m	渡邊 智	科技刈谷	4.57.5
5000m	伴 紘輝	科技刈谷	18.11.8
400mH	川添 達也	科技刈谷	1.04.7
3000mSC	坂元裕二郎	科技刈谷	11.33.4
4×100mR	山田・清水・上田・川添		49.2
4×400mR	坂本・渡邊・山田・川添		3.58.7
走高跳	清水 拓海	豊 橋	1.60
走幅跳	田中 大樹	豊 橋	6.00
三段跳	田中 大樹	豊 橋	11.62
砲丸投	柴田 大地	豊 橋	9.22
円盤投	石川 将也	豊橋夜	24.37

第 68 回国民体育大会
2013年10月4日(金)～8日(火) 味の素スタジアム

成年男子

種 目	順位	氏 名	所 属	記 録
110mH	1	古川裕太郎	小島プレス	13.65
ハンマー投	7	墨 訓熙	中京大	63.21

成年女子

種 目	順位	氏 名	所 属	記 録
800m	7	竹内麻里子	中京大	2.08.67
5000m	2	鈴木亜由子	名大	15.46.30
10000m 競歩	4	前川 知美	三菱自動車岡崎	47.49.95
ハンマー投	5	野田 奈央	名古屋学院ク	57.46

少年男子

種 目	順位	氏 名	所 属	記 録
A	A 100m	7 近藤 晃	愛工大名電	10.78
	A 400m	6 中川 滋貴	豊川高	47.65
B	B 200m	7 大崎 慎平	名城大附高	22.17
	B 3000m	6 長谷川 令	豊川高	8.28.37
共通	5000m 競歩	2 及川 文隆	愛知高	20.36.96
	棒高跳	2 鈴木 康太	岡崎城西高	4.90

少年女子

種 目	順位	氏 名	所 属	記 録
A	100mH	4 萩原加奈子	豊橋南高	13.99
B	200m	8 中野 真琴	安城学園高	24.99
共通	800m	3 佐々木明花	岡崎城西高	2.08.90
	棒高跳	7 佐藤 愛	中京大中京高	3.30

成年少年男子共通

種 目	順位	氏 名	記 録
4×100mR	3	西垣佳哉、寺田健人、大崎慎平、近藤晃	40.13

平成 25 年度愛知県高等学校定時制通信制秋季体育大会
平成 25 年 10 月 13 日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子

(1位のみ)

種 目	氏 名	校 名	記 録
100m	赤嶺マイキ	豊 橋	12.1
200m	日高 丈貴	刈谷東夜	23.8

女子

(1位のみ GR:大会新記録)

種 目	氏 名	校 名	記 録
100m	渥美 みく	豊 橋	14.5
200m	渥美 みく	豊 橋	31.0
400m	山下 真菜	科技刈谷	1.10.6
800m	伊東 愛莉	科技刈谷	2.46.3
3000m	エルゲラヒロミ	豊 橋	14.41.1
100mH	山口 浩美	豊 橋	18.2
4×100mR	山口・プロカ・藤城・渥美		58.9
走高跳	山口 浩美	豊 橋	1.55GR
走幅跳	小柳津了世	豊 橋	3.99
砲丸投	武井 晴加	半田商	6.77
円盤投	武井 晴加	半田商	22.61

第 29 回日本ジュニア陸上競技選手権大会
第 7 回日本ユース陸上競技選手権大会
2013年10月18日(金)～20日(日) 3日間
名古屋市瑞穂公園陸上競技場 本県 8 位入賞のみ

男子ジュニア

種 目	順位	氏 名	学校名	記 録
400m	7	中川 滋貴	豊川高	48.07
110mH	7	角田 涼一	中京大	14.50
走高跳	7	中村 仁	日本大	2.00
	3	小木曾優作	中京大	5.10
	4	榎 将太	中京大	5.10
	6	木 康太	岡崎城西高	5.00
棒高跳	7	高田 凌	中京大	5.00
	8	二宮 聡史	都留文科大	7.09
走幅跳	8	二宮 聡史	都留文科大	7.09
円盤投	4	越 寛将	中京大	48.93
やり投	5	大島 知之	筑波大	66.84

女子ジュニア

種 目	順位	氏 名	学校名	記 録
100m	4	丹羽愛利彩	愛工大名電高	11.98

200m	5	丹羽愛利彩	愛工大名電高	24.70
400m	5	野村 真由	至学館高	56.16
800m	6	佐々木明花	岡崎城西高	2.12.01
	7	吉川 侑希	愛知教育大	2.12.43
400mH	5	北野 有紀	愛知淑徳高	1.01.82
走高跳	6	杉浦 澄美	岡崎城西高	1.70
走幅跳	5	浅井 真子	中京大	5.70
	7	石原 薫子	岡崎城西高	5.69
三段跳	8	中山 怜佳	岡崎城西高	11.93

男子ユース

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	6	近藤 晃	愛工大名電高	10.72
4×100mR	5	新美 泰地 村瀬 翔太 遠藤 侑汰 寺島 航汰	中京大中京高	41.57
走高跳	1	水谷 来	岡崎城西高	2.03
	7	後藤 昂	豊田高専	1.95
やり投	2	坂本 達哉	一宮南高	64.82

女子ユース

(GR:大会記録)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	5	中野 真琴	安城学園	12.10
200m	6	中野 真琴	安城学園	25.01
400m	7	梶浦みずき	愛知高	57.13
走高跳	1	松井 紗希	中京大中京高	1.76 GR
棒高跳	2	今泉 友里	岡崎城西高	3.40
	7	佐藤 愛	中京大中京高	3.30
ハンマー投	4	大久保祥子	長久手高	43.28

第16回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
平成25年10月26日(土)・27日(日) 名古屋瑞穂公園陸上競技場

男子

(3位まで GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	矢橋 寛明 10.60 岐阜・県岐阜商	寺島 航汰 10.75 愛知・中京大中京	内村 優介 10.75 静岡・日大三島
200m	村瀬 翔太 21.57 愛知・中京大中京	遠藤 侑汰 21.60 愛知・中京大中京	内村 優介 21.84 静岡・日大三島
400m	太田 和希 49.87 静岡・沼津東	土屋 順哉 50.00 静岡・葦山	奥川 魁斗 50.37 三重・宇治山田商
800m	梅村 一輝 1.59.99 愛知・千種	上村 一真 2.00.42 三重・四日市工	福留 靖隆 2.00.51 静岡・浜松市立
1500m	北崎 浩太 4.06.08 三重・近大高専	外岡 拓磨 4.06.10 三重・伊賀白鳳	飯島 康介 4.07.05 愛知・愛知
5000m	山藤 篤司 15.08.09 愛知・愛知	竹下 凱 15.11.33 静岡・常葉学園橘	北崎 浩太 15.12.52 三重・近大高専
110mH (1.067m)	坂井遼志朗 14.91 岐阜・美濃加茂	西尾 拓巳 14.95 岐阜・中津商	近藤 雅哉 14.96 愛知・岡崎城西
400mH (0.914m)	真野悠太郎 54.47 愛知・滝	中森 勘輔 55.12 静岡・藤枝明誠	谷口 優輔 55.25 岐阜・高山西
3000mSC	北村 祥 9.27.58 三重・伊賀白鳳	山下 大地 9.32.68 愛知・岩倉総合	亀山 雄一 9.36.71 愛知・愛知
5000mW	富田 繁 22.34.98 愛知・岡崎北	倉田 直哉 23.10.70 三重・相可	青山 福泉 23.40.22 静岡・葦山

4×100mR	県岐阜商 41.75 井口 大輔 松橋 采音斗 立川 裕太 矢橋 寛明	中京大中京 41.76 渡邊圭一郎 村瀬 翔太 遠藤 侑汰 寺島 航汰	日大三島 42.06 渡邊 楽久 物江 翔太 多家 真生 内村 優介
	中京大中京 3.19.79 大澤 京介 遠藤 侑汰 政岡 薫 村瀬 翔太	宇治山田商 3.20.24 乾 颯人 北村 直彦 直江 航平 奥川 魁斗	浜松開誠館 3.21.78 森 祐輝 小島 諒也 高部 湧吾 有川 湧貴
走高跳	水谷 来 2.10GR 愛知・岡崎城西	太田 蒼 2.05 静岡・浜松市立	中島 恭佑 2.02 愛知・安城学園
棒高跳	堀江 勇輝 4.80 岐阜・美濃加茂	植松 海理 4.70 静岡・浜松北	竹川 倅生 4.70 静岡・富士宮北
走幅跳	松岡 修平 7.33GR 三重・高田	伊藤 裕也 7.20 愛知・時習館	永尾 直哉 7.04 愛知・豊田大谷
三段跳	大澄 敦也 14.82 静岡・浜名	加藤 真生 14.34 静岡・新居	伊藤 裕也 14.08 愛知・時習館
砲丸投 (6.0kg)	松岡晋乃介 14.74 岐阜・市岐阜商	早川 匠海 14.61 岐阜・市岐阜商	浅野 克弥 14.17 岐阜・中津商
円盤投 (1.750kg)	寺田 彬浩 42.26 静岡・浜松日体	荻木 佑介 40.95 三重・宇治山田商	伊高 良介 39.65 三重・四日市四郷
ハンマー投 (6.0kg)	東浦 貫太 57.58 三重・宇治山田商	清水 和樹 49.55 愛知・春日井工	寺田 彬浩 49.16 静岡・浜松日体
やり投 (800g)	坂本 達哉 61.00 愛知・一宮南	飯田 濂河 59.86 三重・桑名西	井戸本卓也 58.36 三重・伊勢工

女子

(GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	新木 詩乃 12.12 岐阜・長良	柴山沙也香 12.29 愛知・至学館	武藤あおい 12.35 岐阜・県岐阜商
200m	新木 詩乃 24.65 岐阜・長良	梶浦みずき 24.68 愛知・愛知	柴山沙也香 24.92 愛知・至学館
400m	梶浦みずき 58.13 愛知・愛知	伊藤 里帆 59.63 愛知・愛知	伊谷 葉奈 59.82 静岡・袋井
800m	武藤 直子 2.17.67 静岡・浜松西	大橋佑佳里 2.20.52 静岡・葦山	東出早紀子 2.21.07 愛知・豊橋東
1500m	川野 桃子 4.54.55 愛知・安城学園	諸富 愛奈 4.54.59 愛知・岡崎城西	武藤 直子 4.55.02 静岡・浜松西
3000m	中林 咲 9.59.24 静岡・日大三島	川野 桃子 10.03.86 愛知・安城学園	山田 祥穂 10.04.73 三重・津
100mH (0.840m)	若園 茜 14.30 岐阜・県岐阜商	内山はるな 14.45 愛知・豊橋南	小林紗矢香 14.48 愛知・安城学園
400mH (0.762m)	高野 莉万 1.02.82 愛知・明和	牧野ひかる 1.03.12 岐阜・高山西	北野喜里帆 1.03.82 愛知・愛知淑徳
5000mW	斎藤 美月 25.31.15 愛知・名経大高蔵	西尾 更加 25.36.29 岐阜・済美	榎田 恵 25.39.17 三重・津商
4×100mR	愛知 47.80 浜田 奈子 梶浦みずき 橋詰 奈々 伊藤 里帆	長良 48.63 杉浦 若奈 高木 映里 坂脇 杏梨 新木 詩乃	富士市立 48.90 花田 千咲 渡邊ひかる 川崎友里有 小林 菜奈
4×400mR	愛知 3.52.63 一ノ瀬安葉 梶浦みずき 吉田 紗弓 伊藤 里帆	至学館 3.54.05 柴山沙也香 宮脇 玲菜 大蔵 伊織 羽田 彩乃	済美 4.00.58 奥田 真夕 上梨ライム 堀井 勇菜 杉山果奈美
走高跳	大和田ゆうか 1.70 愛知・豊川	石原 里紗 1.70 岐阜・美濃加茂	中西 美早 1.64 愛知・岡崎城西
棒高跳	水島 恵 3.70GR 静岡・清水東	若園 茜 3.40GR 岐阜・県岐阜商	今泉 友里 3.30GR 愛知・岡崎城西
走幅跳	三浦 菜穂 5.77 静岡・静岡東	葛西志乃美 5.60 岐阜・益田清風	山内菜有里 5.51 愛知・千種

三段跳	河瀬 真央 11.89 岐阜・岐阜卓商	斎藤 真帆 11.61 三重・津西	保田真里奈 11.15 三重・宇治山田商
砲丸投 (4.0kg)	西岡 千絵 11.41 静岡・静岡市立	中村 彩花 10.97 愛知・豊橋東	早瀬 名那 10.93 愛知・瑞陵
円盤投 (1.0kg)	能澤 照実 37.22 愛知・名古屋大谷	大辻 衣里 36.11 三重・宇治山田	小林 杏奈 36.08 愛知・名古屋大谷
ハンマー投 (4.0kg)	東 滯 48.29GR 三重・相可	雪岡 野絵 46.00 三重・宇治山田	大久保祥子 43.67 愛知・長久手
やり投 (600g)	栗田 琴音 45.67 三重・津西	金子 春菜 42.49 岐阜・美濃加茂	向出 奈央 42.26 三重・桑名西

平成25年度愛知県高等学校駅伝競走大会
男子第64回・女子第25回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
 平成25年11月3日(日) 知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
 (男子:42.195km・女子:21.0975km)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川工	2.08.32	豊川	1.08.14
2	豊川	2.09.51	岡崎学園	1.11.55
3	愛知	2.12.33	豊川工	1.12.24
4	中京大中京	2.14.12	千種	1.12.51
5	岡崎城西	2.15.24	中京大中京	1.14.03
6	時習館	2.16.05	至学館	1.14.16

男子 (*:区間新)

区間	氏名	学校名	記録
第1区(10km)	皆浦 巧	豊川	30.15
第2区(3km)	城越 勇星	豊川工	*8.25
第3区(8.1075km)	富安 央	豊川工	26.16
第4区(8.0875km)	山田 滉介	豊川工	24.38
第5区(3km)	鈴木奏太郎	豊川工	8.41
第6区(5km)	白頭 徹也	豊川工	14.57
第7区(5km)	石川 優作	豊川	15.09

女子 (*:区間新)

区間	氏名	学校名	記録
第1区(6km)	関根 花観	豊川	*19.11
第2区(4.0975km)	加治屋ななこ	豊川	13.13
第3区(3km)	山田日菜野	豊川	9.56
第4区(3km)	酒井 愛菜	豊川	9.47
第5区(5km)	堀 優花	豊川	16.07

第27回愛知県小学生陸上競技選手権大会
 2013年11月4日(月) 知多運動公園陸上競技場

少年

種目	1位	2位	3位
4年50m	高橋 隼人 7.64 TSM	安藤 優羽 7.83 安城 JAC	浦野 達 7.86 里町 AC
5年100m	谷口 智紀 13.96 作野 AC	深瀬 京佑 14.02 岡崎 JAC	近田 亘 14.16 豊川陸上教室
6年100m	太田 雄斗 12.91 安城 JAC	鈴木 龍也 12.93 へきなんクラブ	遠藤 耕介 12.99 へきなんクラブ
5年80mH	鈴木 大河 13.42 TSM	松浦 孝之 14.74 作野 AC	伊藤 秀悟 15.22 刈谷 AC

6年80mH	中村 洋介 12.89 成岩 SC 陸上	辻 日向 13.03 岡崎 JAC	小柳 界力 13.32 TSM
6年4×100mR	TSM-A 52.24 小柳 界力 林 育輝 大崎 雅人 笠井 将英	安城 JAC-A 52.43 丸山 大智 鳥居 洋介 増田 和紀 太田 雄斗	TSM-B 53.80 神崎 一毅 田中 祥大 伊藤 蒼真 齋藤 豪
5年走高跳	大岩 央祐 1.23 成岩 SC 陸上	山本 尚 1.21 豊川陸上教室	近藤 慎也 1.20 JAC とよあけ
6年走高跳	石川 隼大 1.35 桜町クラブ	伊藤 蒼真 1.30 TSM	磯本 拓海 1.30 作野 AC
4年走幅跳	久米 晃史 4.07 JAC 武豊	上村耕志郎 3.75 豊橋陸上クラブ	宮本 翔太 3.68 JAC 武豊
5年走幅跳	新垣 颯斗 3.92 新城陸上教室	山本 和毅 3.88 豊橋陸上クラブ	熊谷 侑真 3.57 豊川陸上教室
6年走幅跳	齋藤 啓 4.80 なごや陸上ク	石田 直哉 4.50 JAC とよあけ	澤田 佳樹 4.46 JAC 武豊
5年ソフトボール投	豊嶋 駿介 65.20 辻クラブ	石山慎之助 54.59 里町 AC	大野 雄士 54.00 なごや陸上ク
6年ソフトボール投	神崎 一毅 66.80 TSM	田中 悠登 64.75 桜町クラブ	加藤 健輔 58.76 作野 AC
6年二種競技A	齋藤 岳 1314 豊橋陸上クラブ	大原 快 1244 JAC とよあけ	彦坂 泰地 1232 田原陸上クラブ
6年二種競技B	神谷 翔矢 1590 なごや陸上ク	齋藤 豪 1436 TSM	古橋 颯汰 1281 知立ジュニア

少女

(GR:大会新記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	松山明里咲 7.80 TSM	道川 子音 7.81 豊橋陸上クラブ	藤原古都羽 7.82 岡崎 JAC
5年100m	本田 菜摘 13.87 安城 JAC	新庄 理子 14.04 豊橋陸上クラブ	大嶋 紗弥 14.13 安城 JAC
6年100m	竹崎 郁乃 13.07GR 安城 JAC	大城 珠莉 13.08 十四山体育ク	森田 桃加 13.21 なごや陸上ク
5年80mH	伊藤 凛乃 14.27 TSM	易永 花音 15.09 知立ジュニア	岸田 希望 15.24 JAC 武豊
6年80mH	落合 凧琉 12.99 TSM	岡村 美果 13.49 なごや陸上ク	細田 蒼葉 13.61 TSM
6年4×100mR	安城 JAC-A 52.59 石川 真菜 石川 留菜 倉山 捺希 竹崎 郁乃	なごや陸上ク 53.89 岡村 美果 森田 桃加 三輪 未来 小島緋奈乃	TSM-A 55.47 松本 祐奈 伊藤 綾夏 落合 凧琉 吉田 凛
5年走高跳	鏡味 咲耶 1.20 成岩 SC 陸上	松下奈那音 1.20 豊橋陸上クラブ	林 莉緒 1.15 福岡 AC
6年走高跳	青木 琴子 1.30 TSM	小船妃那子 1.30 岡崎 JAC	筒井 心菜 1.25 豊橋陸上クラブ
4年走幅跳	藤原さくら 3.70 安城北部分 AC	高橋 知伽 3.65 豊橋陸上クラブ	鈴木 麗絵 3.51 なごや陸上ク
5年走幅跳	三矢 遥菜 4.11 いっしき陸上	吉村 真星 4.02 東浦 AC	田中 美帆 3.98 JAC 武豊
6年走幅跳	安藤 萌衣 4.07 なごや陸上ク	伊藤 早希 3.99 布袋陸上クラブ	山下 李瑚 3.98 田原陸上クラブ
5年ソフトボール投	国府 亜実 48.60GR なごや陸上ク	野口 千尋 46.98 今池 AC	柘植 美咲 43.76 里町 AC
6年ソフトボール投	中嶋 萌花 48.43 たかはまジュニア	渡邊 柚帆 46.64 福岡 AC	加藤沙也花 46.24 きらめき AC
6年二種競技A	伊藤 綾夏 1638 TSM	木村 加乃 1564 TSM	川口さくら 1280 上郷 JAC
6年二種競技B	沖 有友里 1463 豊橋陸上クラブ	松尾南央子 1382 豊橋陸上クラブ	吉田 凛 1364 TSM

男女混合

種目	1位	2位	3位
4年 4×100mR	TSM-A 59.90 猪熊 紗伎 松本佳音 高橋 隼人 西 徹朗	豊橋陸上クラブ-A 59.92 筒井 玲奈 道川 子音 林 嶺太郎 榮 壘唯	岡崎 JAC 1.00.29 澤田 幸奈 藤原古都羽 竹田 優作 加藤 快征
5年 4×100mR	安城 JAC-A 55.29 大嶋 紗弥 本田 菜摘 谷本 秀太 長田 峻汰	豊橋陸上クラブ-A 56.11 外山 花音 新庄 理子 小嶋 晁 加藤 大樹	TSM-A 56.27 天野ユリヤ 宗像 未来 鈴木 大河 三ヶ尻祐大

第62回愛知県中学校駅伝大会
平成25年11月16日(土) 新城総合公園
[男子] 距離 18.05km (6区間) [女子] 距離 12.65km (5区間)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川市立東部	56.50	豊川市立東部	42.47
2	岡崎市立甲山	57.10	江南市立古知野	43.09
3	岡崎市立竜海	57.34	岡崎市立六ツ美北	43.34
4	岡崎市立矢作	57.48	田原市立福江	43.49
5	豊橋市立石巻	57.58	岡崎市立甲山	44.01
6	岩倉市立岩倉	58.00	豊橋市立高豊	44.12
7	岡崎市立翔南	58.03	岡崎市立矢作北	44.24
8	豊田市立前林	58.22	豊川市立西部	44.35
9	江南市立古知野	58.26	岡崎市立葵	44.37
10	岡崎市立六ツ美北	58.30	岡崎市立東海	44.37

2013実業団女子駅伝中日本大会
2013年10月20日(日) 岐阜県庁～羽島市文化センター

総合成績 (NGR: 大会新記録)

1	デンソー	2.15.54	NGR	4	愛知電機	2.21.47		
2	豊田自動織機	2.16.54	3	ユタカ技研	2.21.12	5	小島プレス	2.26.03

(石橋 麻衣、岡 未友紀、水口 侑子、スーサン・ワイリム、高島 由香、浅羽 加代)

区間賞 (*: 区間新)

第1区(6.8km)	石橋 麻衣	デンソー	*21.35
第2区(4.2km)	横江 里沙	豊田自動織機	12.57
第3区(10.2km)	水口 侑子	デンソー	33.26
第4区(4.6km)	ワイナイナ・ムルギ	豊田自動織機	*14.12
第5区(11.0km)	高島 由香	デンソー	*35.31
第6区(5.395km)	浅羽 加代	デンソー	17.46

理事会等会議報告

- 8月理事会 25年8月7日(水) 18:00 教育会館
- 1 協議事項
- ①第67回国民体育大会「愛知県選手団(役員・選手)」の選考について
 - ②その他

2 報告事項

- ①国体代表選手の強化合宿について
- ②全国高校陸上競技選手権大会の成績について
- ③日本ジュニア・ユース選手権大会について
- ④マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2012について
- ⑤第38回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者
- ⑥各種専門委員会報告
- ⑦その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

平成25年10月4日(金)～8日(火)第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」において、会場の「味の素スタジアム(調布市)」で表彰式が行われました。

日本陸上競技連盟から表彰を受けた方は、次の皆様です。心よりお祝い申し上げます。



(秩父宮章) …日本陸連・加盟団体への功労者
外山 修(愛知陸協元理事)
水野 隆夫(愛知陸協理事)

(高校優秀指導者章) …高校生指導者としての功労者
谷口 深樹(愛知淑徳高校)

(中学優秀指導者章) …中学生指導者としての功労者
細井 太郎(岡崎・美川中学校)

(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技発展のため多大なるご尽力をいただきまして、ありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
清田 明治	25・5	東三河
手嶋 文治	25・6	西三河

編集後記

◇東海中総体、全日中、日本ジュニア・ユース、東海高校新人と県を超えた大会が続いたトラックシーズンが終了。いずれも成功のうちに終わり、愛知の力を示した。◇今シーズンも多くの県記録が誕生。やり甲斐を強く感じる。

編集委員

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 大西 敏功 | 小坂 拓 | 榊原 英司 | 寺尾 健 |
| 新見 精三 | 西垣 完彦 | 野口 一昭 | 山下ゆかり |
| 横田小百合 | | | |